

八街市総合計画 2015 後期基本計画 基礎調査報告書

平成 3 1 年 3 月

八街市

目次

序章

- 1 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 調査の項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第1章 八街市の概況

- 1 人口動態
 - (1) 年齢階層（3区分）別人口の推移・・・・・・・・・・ 4
 - (2) 人口動態の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (3) 将来人口の推計・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 2 財政状況
 - (1) 一般会計歳入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - (2) 一般会計歳出の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第2章 市民意向調査

- 1 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2 調査の結果
 - (1) 回答者属性
 - F 1 性別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - F 2 年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - F 3 職業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - F 4 通勤・通学地・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - F 5 通勤・通学の交通手段・・・・・・・・・・ 17
 - F 6 市内駅までの交通手段（JR線利用者のみ回答）・・ 18
 - F 7 居住地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
 - F 8 居住年数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
 - (2) 八街市全般のことについて
 - 問1 八街市のイメージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
 - 問2 八街市への愛着・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 - 問3 暮らしの満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
 - 問4-1 満足度・重要度・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - 問4-2 優先して進める必要がある施策・・・・・・・・・・ 29
 - 問5-1 定住意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
 - 問5-2 住み続けたい理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

問 5-3	転出したい理由	32
問 6	これからのまちづくりの視点	33
(3) 市民参加、市民協働について		
問 7-1	市政への関心	34
問 7-2	関心のある理由	35
問 7-3	市政への要望・意見の伝達手段	36
問 8	協働したい活動	37
問 9	協働のまちづくりの実感	38
問 10-1	区や町内会・自治会の加入状況	39
問 10-2	区や町内会・自治会に加入していない理由	40
問 10-3	区や町内会・自治会の参加の意向	41
問 11	地域活動への参加状況	42
(4) 個別の施策について		
問 12	出産や子育てに関して重要だと考える施策	43
問 13-1	老後の不安	44
問 13-2	高齢社会を迎えるにあたって重要と思う施策	45
問 14	男女平等の実現度	46
問 15-1	交通手段の利用状況とその満足度	47
問 15-2	優先して進める必要がある交通施策	48
問 16-1	市の行財政改革への関心	49
問 16-2	行財政改革を進めるうえで重要な施策	50
問 16-3	市民サービスの水準と負担の考え方	51
問 17	市情報の入手方法	52

第 3 章 まちづくり活動団体アンケート

1	調査の概要	54
2	調査の結果	
(1) 団体について		
問 1	団体属性について	55
F 1	会員数	55
F 2	組織形態	56
F 3	活動分野	57
F 4	活動回数	58
F 5	補助金の活用	59
問 2	会報誌の作成や SNS の活用	60

問3	活動に対する理解や賛同への意向	61
問4	活動環境の満足度	62
問5	必要としている環境や支援	63
(2) 地域や行政との連携・協力について		
問6	他団体や行政と連携・協力した経験	64
問7	他団体との連携・協力の意向	65
問8	話し合いの場への参加の意向	66
(3) 八街市の将来のまちづくりについて		
問9	優先して進める必要があると思う施策	67

第4章 区長アンケート

1	調査の概要	70
2	調査の結果	
(1) 区について		
問1	区の名称（記入の有無）	71
問2	運営や活動するうえでの課題	72
問3	必要としている環境や支援	73
問4	少子化・高齢化・人口減少に対する実感	74
問5	少子化・高齢化・人口減少に対する地域の取り組みの意向	75
問6	生活環境の課題	76
(2) 地域間の連携・協力について		
問7	継続困難となっている活動の有無	77
問8	地域活動の連携・協力の意向	78
問9	地域活動の連携・協力の実績	79
(3) 八街市の将来のまちづくりについて		
問10	優先して進める必要があると思う施策	80

第5章 子育て世代アンケート

1	調査の概要	82
2	調査の結果	
問1	所属している学校	83
問2	子育てしやすい環境	84
問3	子育てしやすい八街市の実現に向けて、行政に必要な 取り組み	85
問4	出産・子育て支援策の認知度	86

問5	子育てしやすい八街市の実現に向けた取り組み	87
問6	優先して進める必要があると思う施策	88

第6章 新成人と市長との懇談会

1	調査の概要	90
2	会議の内容	91

第7章 八街っ子夢議会

1	調査の概要	94
2	会議の内容	95

第8章 まちづくり活動団体懇談会

1	調査の概要	98
2	会議の内容	100

第9章 市民懇談会

1	調査の概要	108
2	会議の内容	109

第10章 社会指標の比較

1	調査の概要	116
2	調査の結果	
(1)	人口	118
(2)	都市形成	120
(3)	経済基盤	121
(4)	行政基盤	122
(5)	教育・文化	124
(6)	労働	125
(7)	交流	126
(8)	居住・環境	127
(9)	社会保障	129
(10)	健康医療	130
(11)	安全	131

参考	八街市課題マップ	135
----	----------	-----

序 章

1 調査の目的

本市では、平成27年度から平成36年度までを計画期間とする「八街市総合計画2015」を策定し、「基本構想」におけるまちづくりの基本理念を「ふるさとを守り育て、活力や文化の薫りに満ち、心安らぐまちづくりを、市民と行政の協働により進めます。」と掲げるとともに、将来都市像を「ひと・まち・みどりが輝く ヒューマンフィールドやちまた」と定め、その実現に向けて計画的にまちづくりを進めている。

また、この将来都市像を実現するための具体的な施策を体系的に定めた「前期基本計画」では、「八つの街づくり」をまちづくりのテーマとして掲げ、その達成に取り組んでいる。

この前期基本計画の計画期間が平成31年度末をもって終了することから、新たに策定する「後期基本計画」を基本構想の実現に向けた効果的かつ前期基本計画の深化・充実を図る計画とすることを目的に、市民意向調査をはじめとする各種調査業務を実施する。

2 調査の項目

- 第1章 八街市の概況
- 第2章 市民意向調査
- 第3章 まちづくり活動団体アンケート
- 第4章 区長アンケート
- 第5章 子育て世代アンケート
- 第6章 新成人と市長との懇談会
- 第7章 八街っ子夢議会
- 第8章 まちづくり活動団体懇談会
- 第9章 市民懇談会
- 第10章 社会指標の比較

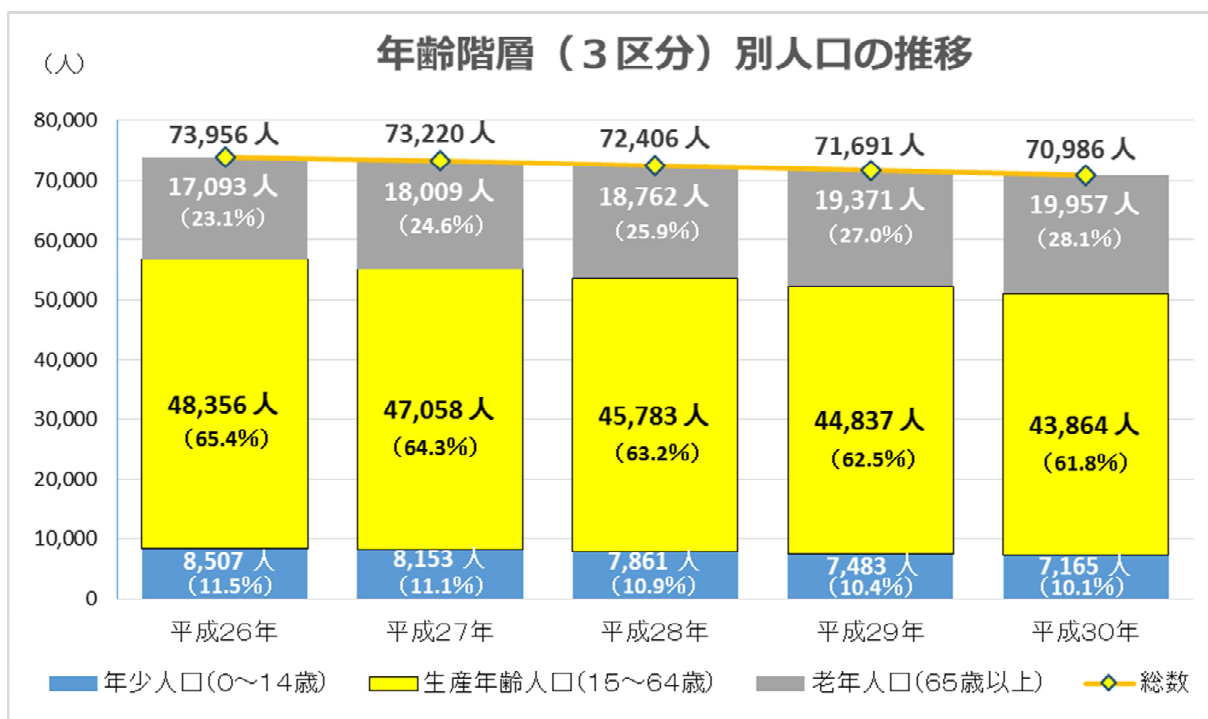
第1章 八街市の概況

1 人口動態

(1) 年齢階層（3区分）別人口の推移

本市の人口は、昭和50年以降の急激な増加から、平成16年2月末日付け77,770人をピークに現在は減少傾向にある。

八街市総合計画2015前期基本計画の計画期間の前年である平成26年と平成30年の人口を比較すると、2,970人減少している。これを、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15歳～64歳）、老年人口（65歳以上）の階層別に比較すると、年少人口が1,342人、生産年齢人口が4,492人それぞれ減少しているのに対し、老年人口は2,864人増加し、人口に占める老年人口の比率（高齢化率）も平成30年には28.1%と大幅に上昇していることから、加速度的に高齢化が進んでいることがわかる。



八街市住民基本台帳人口増減数(対前年比)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	総増減数
年少人口(0～14歳)	-354人	-292人	-378人	-318人	-1,342人
生産年齢人口(15～64歳)	-1,298人	-1,275人	-946人	-973人	-4,492人
老年人口(65歳以上)	916人	753人	609人	586人	2,864人
増減総数	-736人	-814人	-715人	-705人	-2,970人

八街市 住民基本台帳（各年3月31日現在）

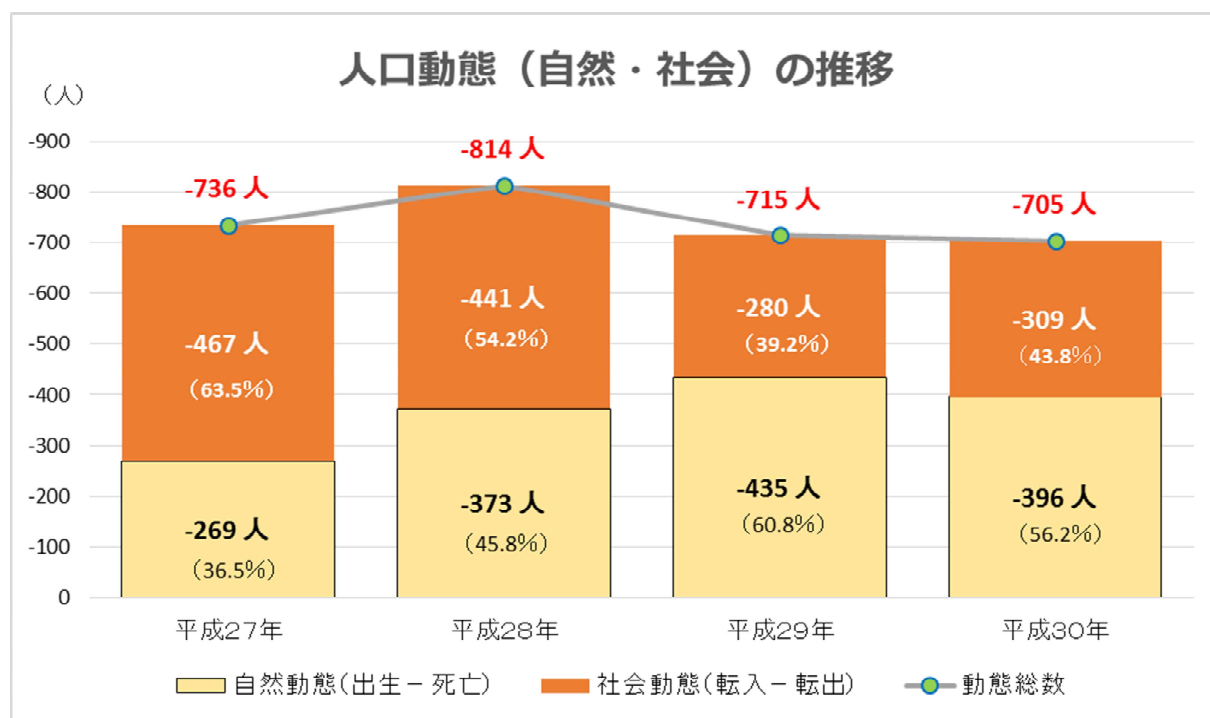
(2) 人口動態の推移

人口動態とは「自然動態」と「社会動態」を合わせた人口の動き(増減)をいう。「自然動態」とは、出生・死亡に伴う人口の動きであり、「社会動態」とは、転入・転出に伴う人口の動きをいう。

本市の人口減少について、自然動態、社会動態の事由別に分析すると、死亡者数が出生者数を上回ることによる自然減、また、転出者数が転入者数を上回ることによる社会減が原因であることがわかる。

人口は、平成28年まで加速度的に減少していたが、平成29年以降は若干緩和され、減少数は700人台で推移している。

人口動態総数に占める自然動態、社会動態の割合を比べると、平成28年までは社会減が自然減を上回っていたが、平成29年以降は自然減が社会減を上回っている。今後、出生数が増加しない限り、自然減は継続し、年少人口の減少にも影響することが見込まれる。



千葉県 毎月常住人口調査報告書(各年3月31日現在)

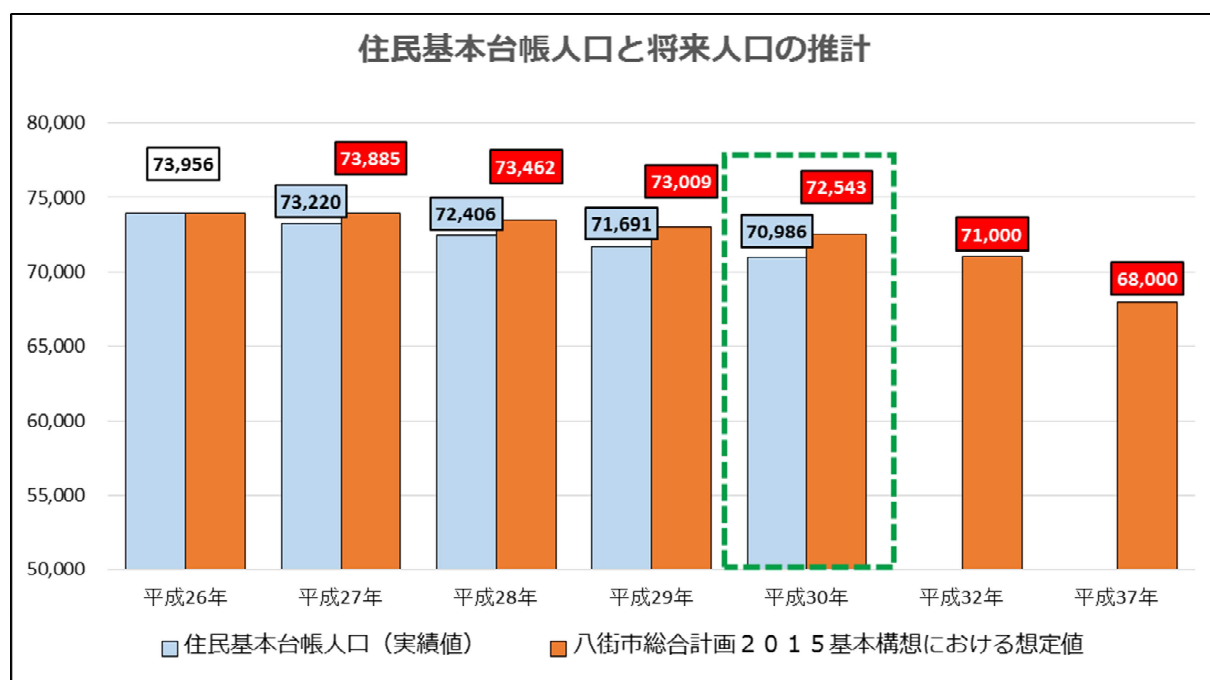
(3) 将来人口の推計

日本の将来人口について、国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、平成27年から平成77年までの50年間で7割程度まで減少することが見込まれている。

国の人口減少と同様に、本市の将来人口についても減少していくことが見込まれているが、このような状況に歯止めをかけるため、八街市総合計画2015基本構想（以下「基本構想」という。）では、人口減少対策をはじめとする住環境の整備や産業振興策などの取り組みを推進することにより、人口減少の抑制を図り、平成37年の総人口を68,000人と想定している。

平成30年現在では、各種施策の取り組みにより一定の効果が認められ、人口減少数は若干緩和されてきているが、住民基本台帳人口の実績値（70,986人）と基本構想による想定人口（72,543人）を比較すると約1,500人下回る状況となっている。

単位：人



八街市 住民基本台帳（各年3月31日現在）

八街市総合計画2015基本構想

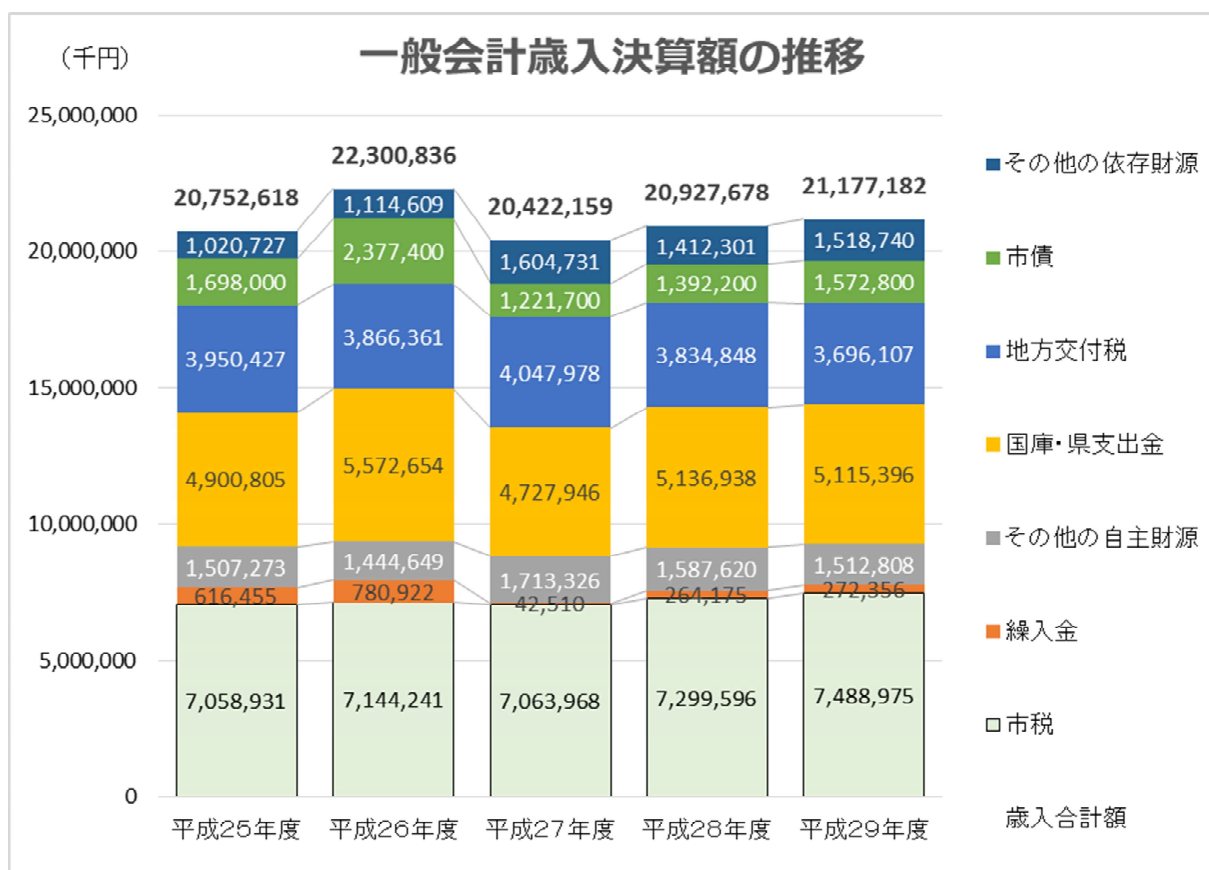
2 財政状況

(1) 一般会計歳入の状況

市町村の財源は、自主財源（市税、繰入金、手数料及び使用料など）と依存財源（国庫・県支出金、地方交付税、市債など）に分けられ、自主財源の多寡は市町村の財政運営の自主性、安定性に影響を与える。

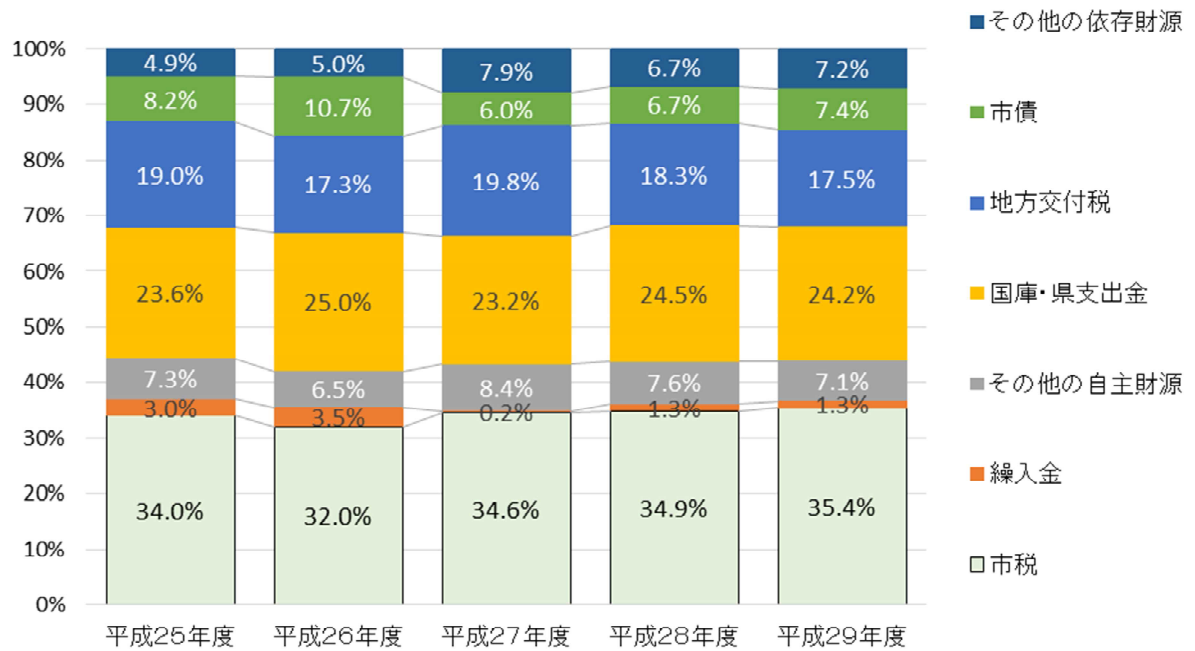
本市の歳入は、約 200 億円前後を推移しており、自主財源が全体の約 40% 強、依存財源が約 60% 弱で構成しており、市が独自で活用できる財源の確保が厳しい状況となっている。

単位：千円

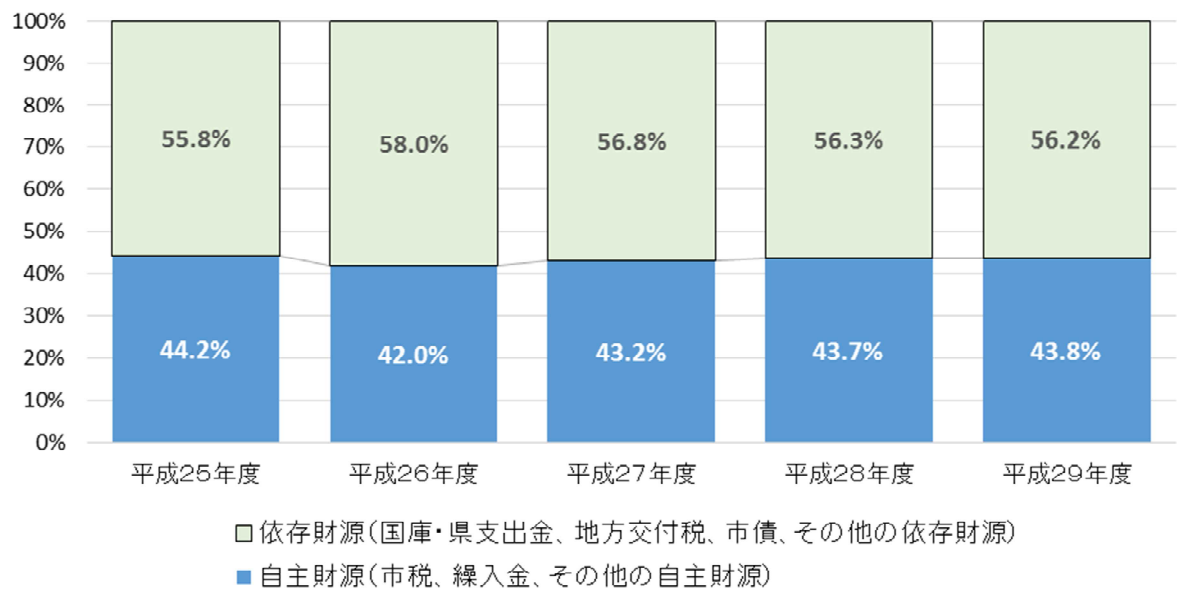


八街市 主要施策の成果の説明書

一般会計歳入決算の構成の推移



一般会計歳入決算の構成の推移（自主財源、依存財源）

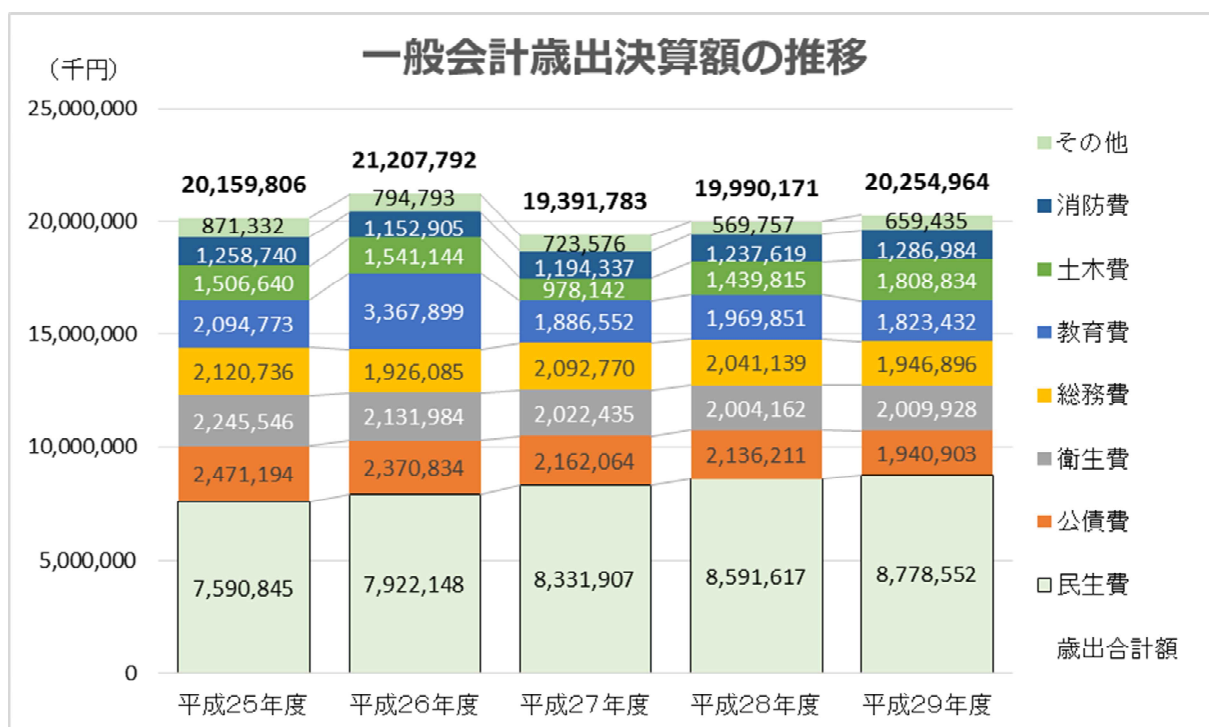


(2) 一般会計歳出の状況

本市の歳出は、約 200 億円前後を推移しており、歳出に占める割合が最も高いものは福祉などに支出される民生費で、近年では大幅な増加傾向にあり、全体の 40%以上を占めている。

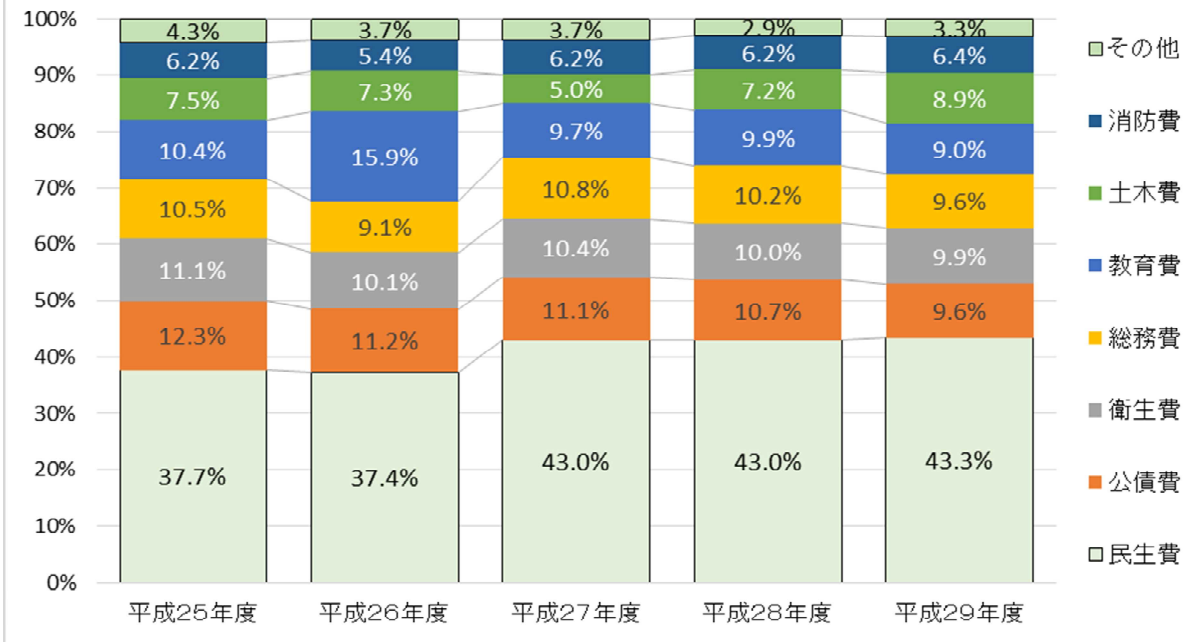
なお、歳出について性質別に分析すると、扶助費（社会保障制度の一環として、生活困窮者などに対し、生活維持を図ることを目的に支給する費用）や公債費（地方公共団体の借入金の元金及び利子の支払いのための費用）といった義務的経費（市の任意により節減できない極めて硬直性の強い経費）が全体の 60%前後を推移しており、財政の硬直化が進んでいる。

単位：千円



八街市 主要施策の成果の説明書

一般会計歳出決算額の構成の推移



一般会計歳出性質別決算額及び構成比

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	決算額(千円)	構成比	決算額(千円)	構成比	決算額(千円)	構成比	決算額(千円)	構成比	決算額(千円)	構成比	
消費的経費	人件費	4,176,318	20.7%	4,161,822	19.6%	3,890,129	20.1%	3,947,793	19.7%	4,067,798	20.1%
	扶助費	4,921,684	24.4%	5,120,431	24.1%	5,282,169	27.2%	5,466,077	27.3%	5,573,053	27.5%
	公債費	2,471,194	12.3%	2,370,834	11.2%	2,162,064	11.1%	2,136,211	10.7%	1,940,903	9.6%
	義務的経費計	11,569,196	57.4%	11,653,087	54.9%	11,334,362	58.4%	11,550,081	57.8%	11,581,754	57.2%
	その他の消費的経費	5,089,696	25.2%	5,116,908	24.1%	5,211,535	26.9%	4,977,437	24.9%	5,039,206	24.9%
小計	18,658,892	82.6%	18,769,995	79.1%	18,545,897	85.3%	18,527,518	82.7%	18,620,960	82.1%	
その他の経費	積立金	38,574	0.2%	5,785	0.0%	121,182	0.6%	14,157	0.1%	35,988	0.2%
	投資及び出資金・貸付金	93,183	0.5%	79,724	0.4%	75,737	0.4%	79,701	0.4%	79,858	0.4%
	繰出金	1,857,211	8.2%	1,712,639	8.1%	2,043,528	10.5%	2,147,494	10.7%	2,056,542	10.2%
	小計	1,783,968	8.8%	1,798,128	8.5%	2,240,445	11.6%	2,241,352	11.2%	2,172,388	10.7%
投資的経費	普通建設事業費	1,711,203	8.5%	2,620,326	12.4%	605,441	3.1%	1,204,433	6.0%	1,461,617	7.2%
	災害復旧事業費	5,743	0.0%	19,343	0.1%	0	0.0%	16,888	0.1%	0	0.0%
	小計	1,716,946	8.5%	2,639,669	12.4%	605,441	3.1%	1,221,301	6.1%	1,461,617	7.2%
歳出合計	20,159,806	100%	21,207,792	100%	19,391,783	100%	19,990,171	100%	20,254,964	100%	

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計が一致しない場合があります。

第2章 市民意向調査

1 調査の概要

(1) 調査の目的

八街市総合計画 2015 後期基本計画の策定に当たり、前期基本計画策定時（調査時期：平成 25 年 12 月）とほぼ同内容の調査項目についてアンケートを実施することにより、経年変化を把握するとともに、市政の諸課題に対する市民の満足度・重要度などの意識調査を行う。

(2) 調査の実施概要

①調査項目

性別、年齢、職業、地区、定住・転出の意向とその理由、八街市の施策に対する項目毎の満足度、地域活動の状況、その他必要と思われる事項

②調査対象

市内に居住する 18 歳以上の市民 2,000 人

③抽出方法

住民基本台帳による無作為抽出

④調査時期

発送日 7 月 20 日

締切日 8 月 21 日

⑤調査方法

郵送による調査票の配布、回収

⑥回収結果

配布数 2,000 人

有効回収数 608 人

有効回収率 30.4%

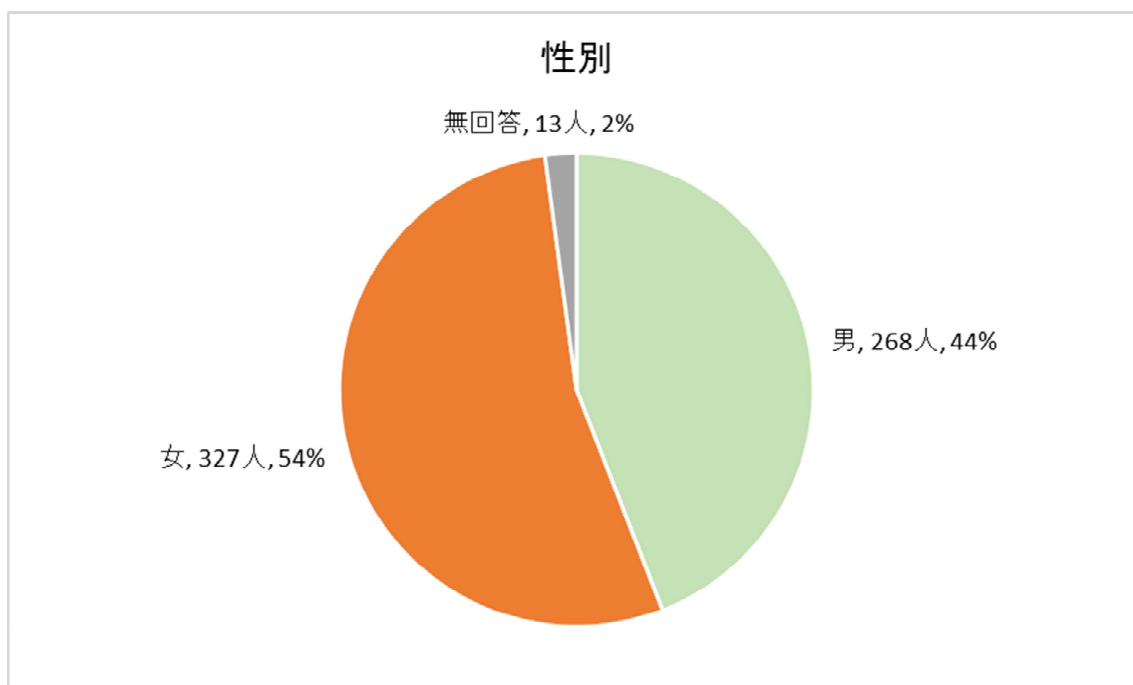
2 調査の結果

(1) 回答者属性

F 1 性別

あなたの性別は (N=608)

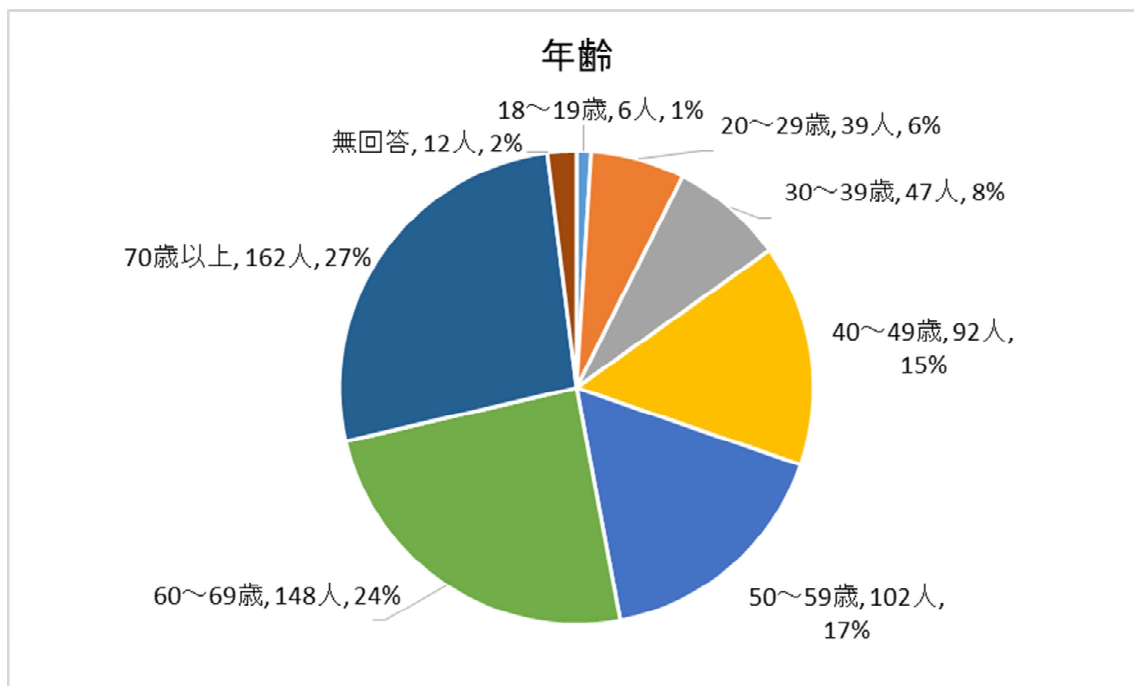
回答者は、女性が 327 人、構成比 54% (前回調査 57%) が男性 268 人、構成比 44% (前回調査 41%) を上回る。



F 2 年齢

あなたの年齢は (N=608)

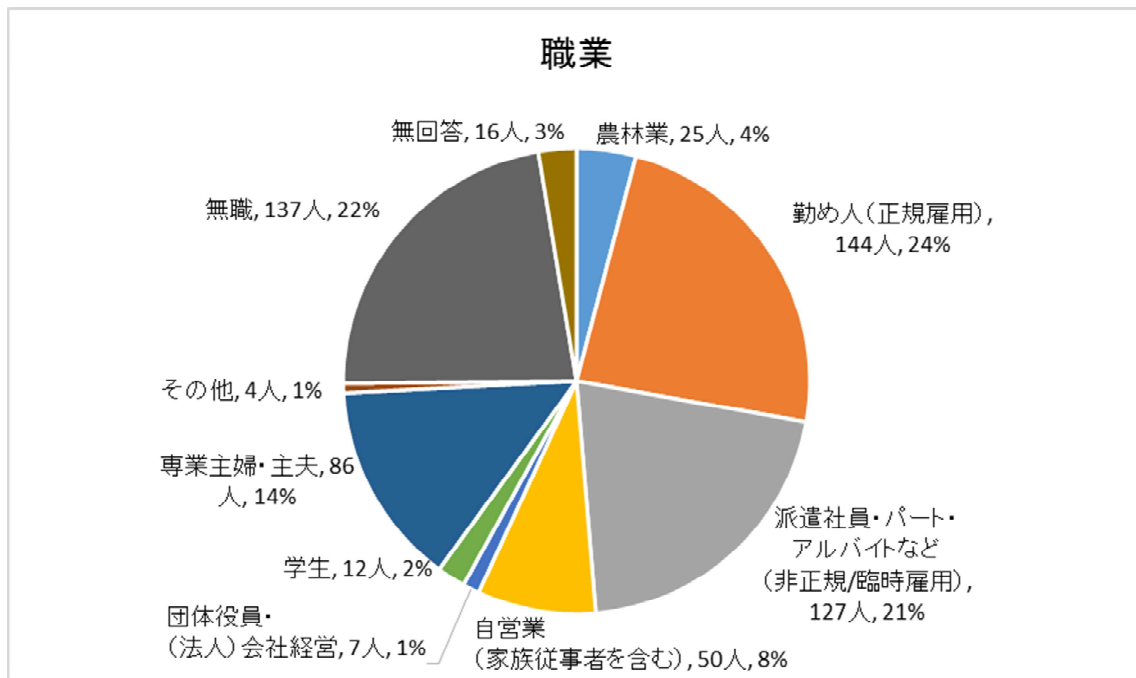
60歳代以降の回答者が310人、構成比約50%（前回調査43%）を占めており、若年層に比べ、高齢者層の回答割合が高いものとなっている。



F 3 職業

あなたの職業は(兼業の方は主な職業についてのみお答えください)(1つに○)(N=608)

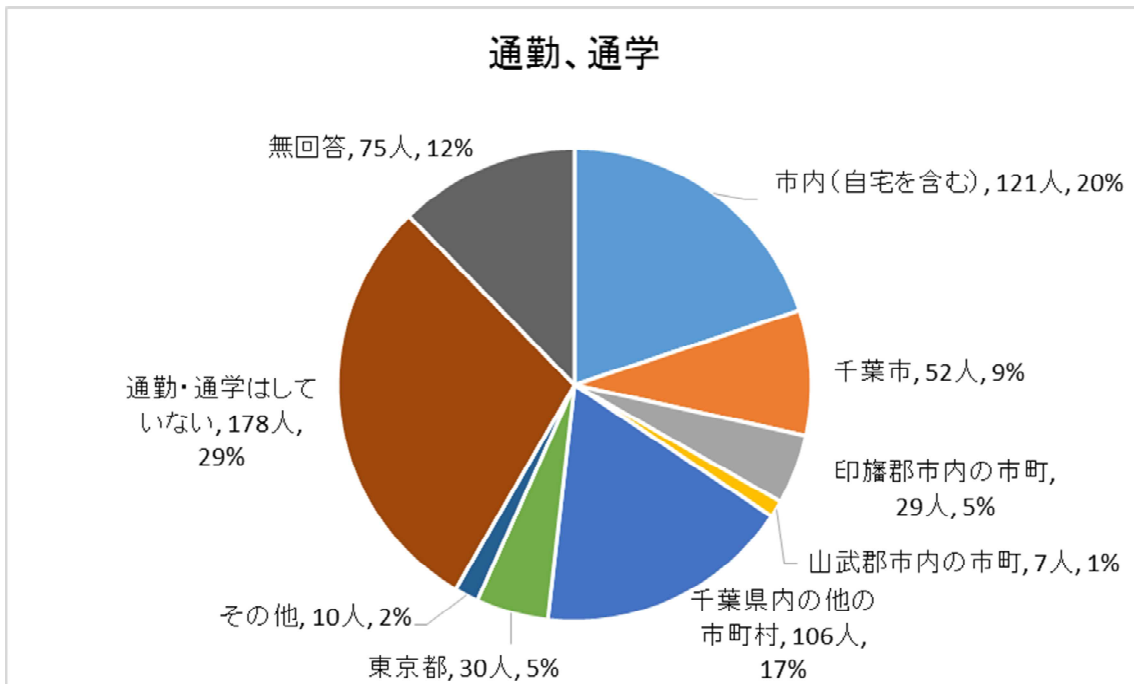
主な回答者は、「勤め人(正規雇用)」の回答者数 144 人、構成比 24%(前回調査 22%)、「無職」の回答者数 137 人、構成比 22%(前回調査 18%)、「派遣社員・パートなどの臨時雇用」の回答者数 127 人、構成比 21%(前回調査 21%)である。前回調査に比べ、「無職」の構成比が高いものとなっている。



F 4 通勤・通学地

あなたの通勤・通学地は（主な場所1つに○）（N=608）

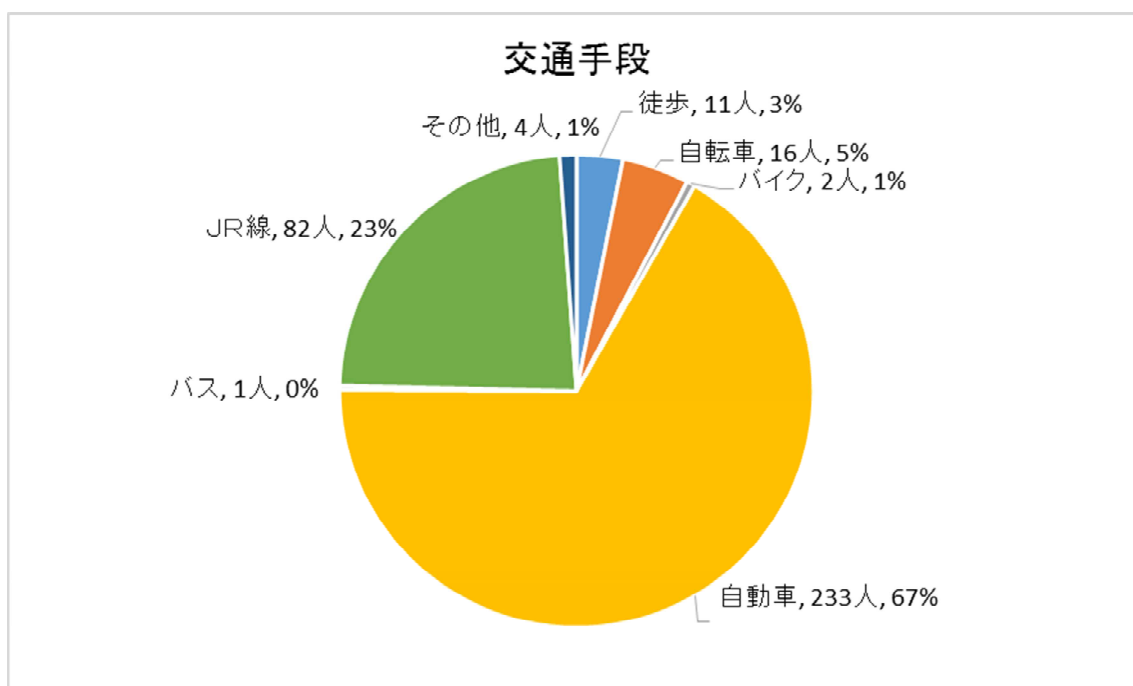
「通勤・通学はしていない」の回答者が178人、構成比29%（前回調査24%）、「市内（自宅を含む）」の回答者が121人、構成比20%（前回調査22%）、「千葉県内の他の市町村」の回答者が106人、構成比17%（前回調査18%）などである。前回調査に比べ「通勤・通学はしていない」の構成比が高くなっている。



F 5 通勤・通学の交通手段

通勤・通学している場合、主な交通手段は何ですか。(1つに○) (N=608)

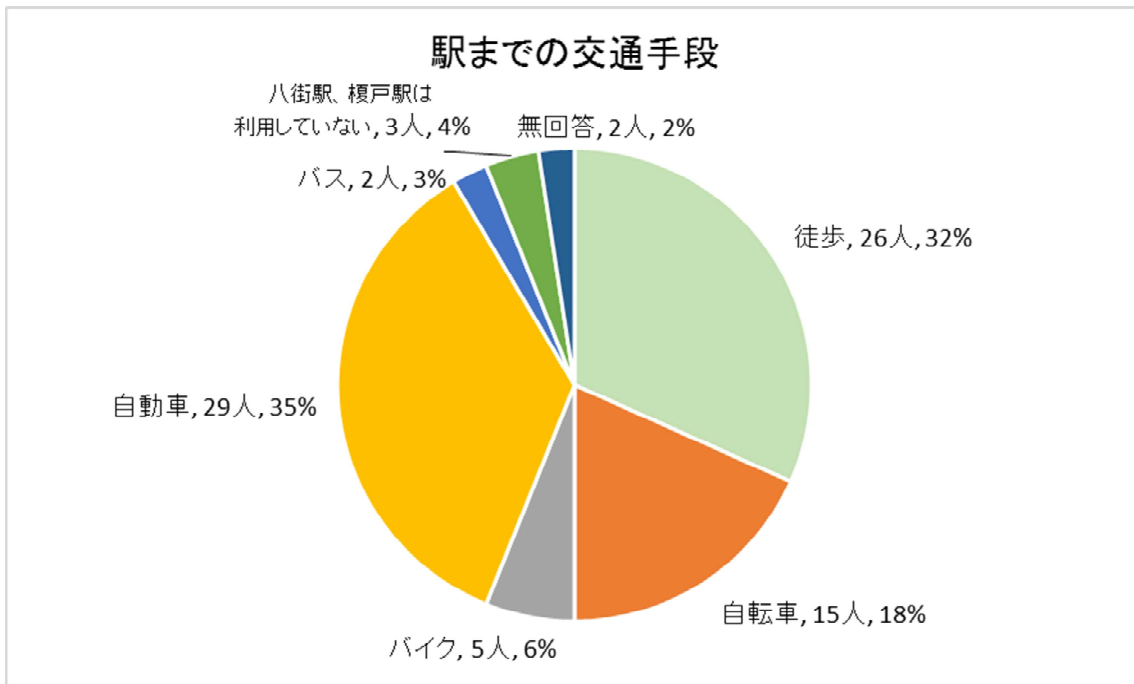
回答者のうち「自動車」利用者が233人、構成比67%（前回調査65%）と7割近くを占めている。次いで「JR線」利用者が82人、構成比23%（前回調査15%）であり、前回調査に比べ鉄道利用者の構成比が高くなっている。



F 6 市内駅までの交通手段（JR線利用者のみ回答）

F 5で、「6. JR線」を選んだ方に伺います。JR総武本線八街駅・榎戸駅までの主な交通手段は何ですか。（1つに○）（N=82）

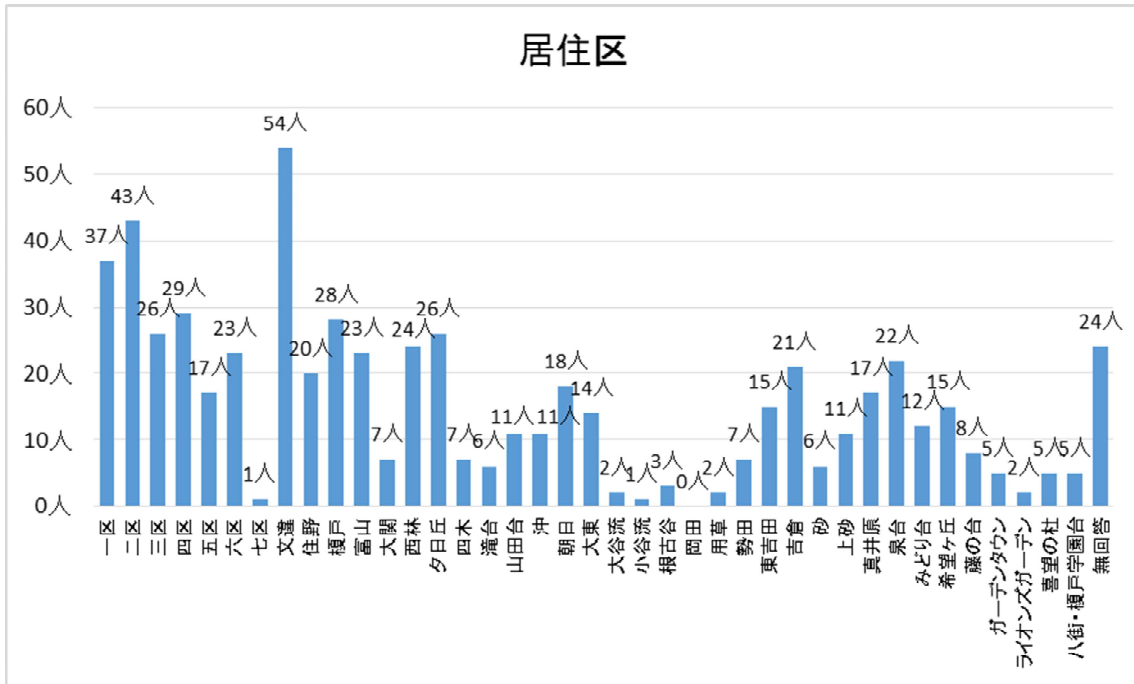
「自動車」が29人、構成比35%（前回調査34%）、「徒歩」が26人、構成比32%（前回調査28%）、「自転車」が15人、構成比18%（前回調査25%）が主要な交通手段となっている。



F 7 居住地域

あなたのお住まいは。(1つに○) (N=608)

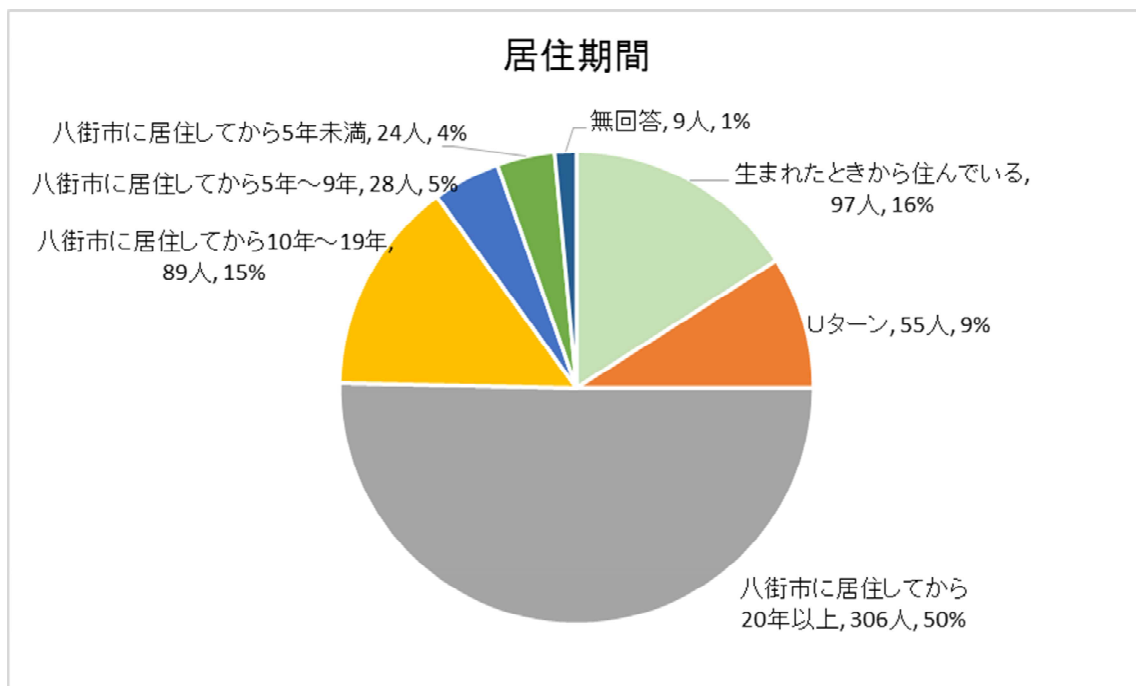
居住区については、下図のとおり北部地域からの回答者が多くを占めている。



F 8 居住年数

あなたは、八街市に何年お住まいですか。(1つに○) (N=608)

「八街市に居住してから20年以上」の回答者が306人、構成比50%(前回調査40%)、「生まれたときから住んでいる」の回答者が97人、構成比16%(前回調査15%)、「八街市に居住してから10年～19年」の回答者が89人、構成比15%(前回調査27%)など長年に渡る居住者の回答者が全体の8割を超える。一方で近年の転入者(居住して10年未満)の回答者は全体の1割に満たない結果となっている。

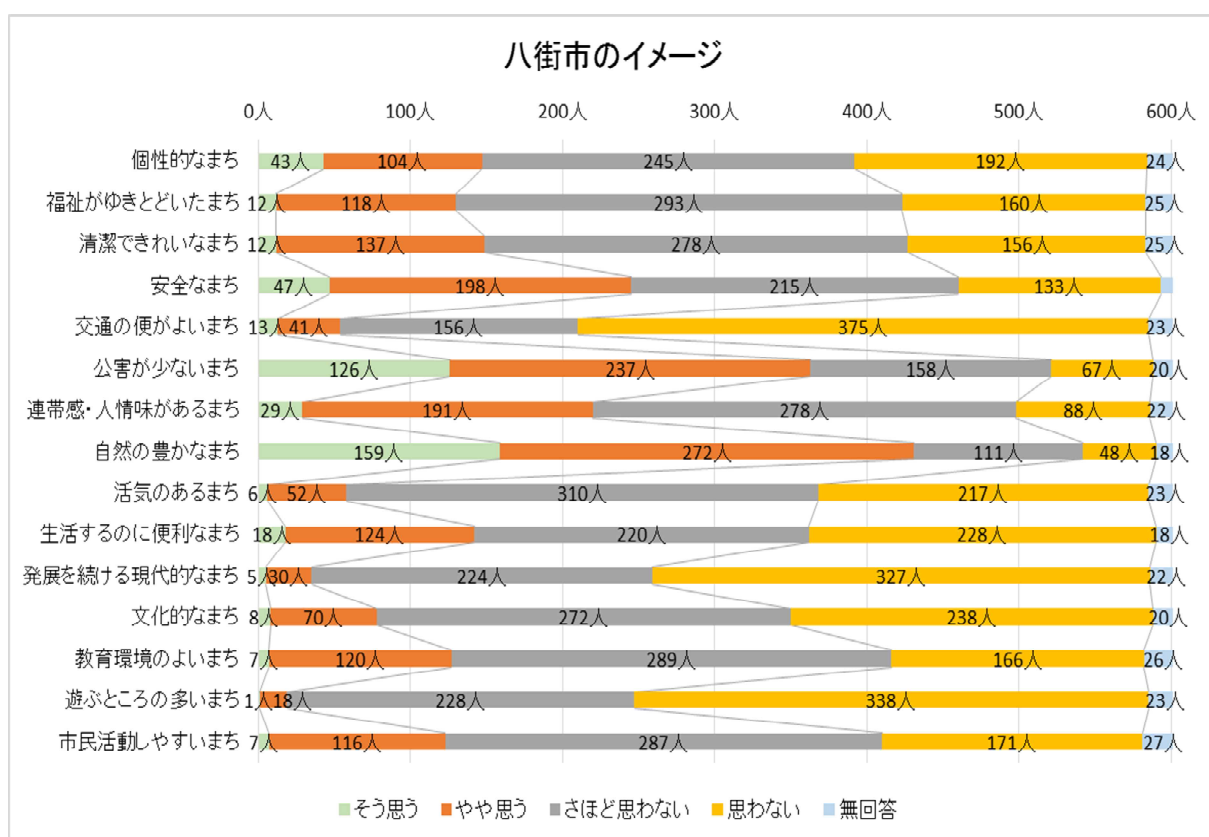


(2) 八街市全般のことについて

問1 八街市のイメージ

あなたは、八街市にどのようなイメージをお持ちですか。(1つに○) (N=608)

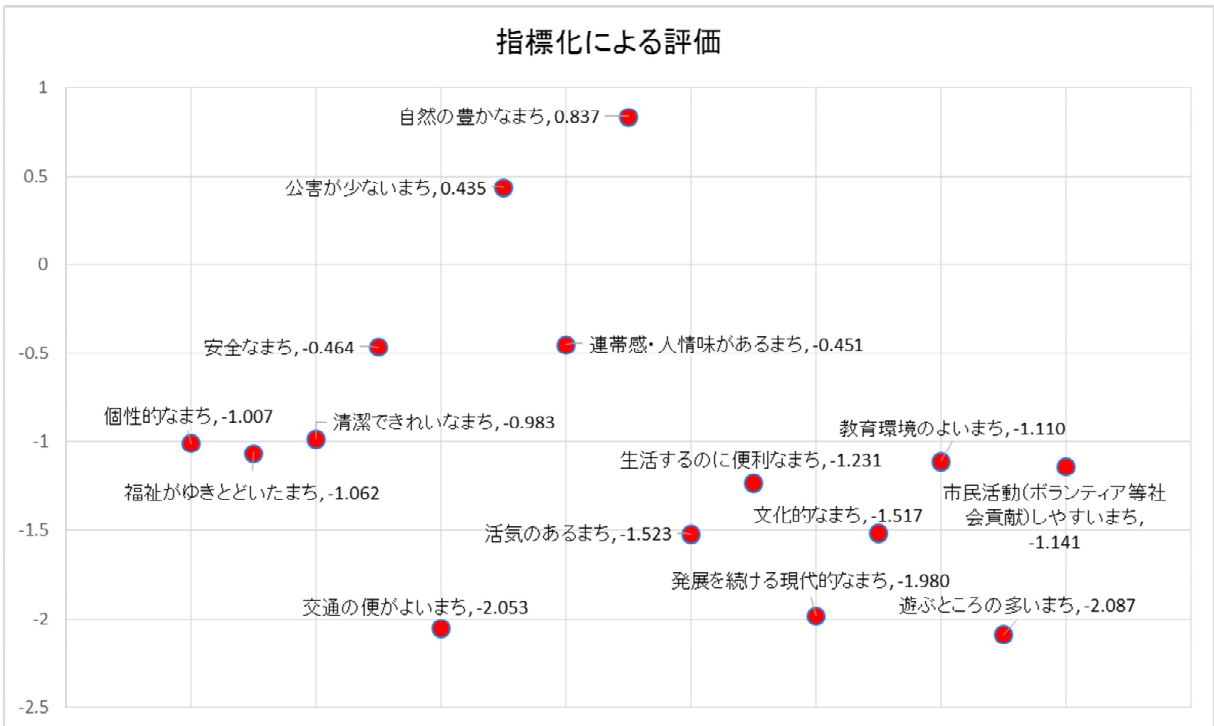
「そう思う」との回答が多いのは、「自然の豊かなまち」159人、構成比26%（前回調査33%）、「公害が少ないまち」126人、構成比21%（前回調査23%）であり、次の「安全なまち」47人、構成比8%（前回調査4%）とは大きな差がある。「そう思う」と「やや思う」を合わせた『思う』についても「自然の豊かなまち」431人、構成比71%（前回調査74%）、「公害が少ないまち」363人、構成比60%（前回調査62%）以外の項目は50%を下回るものとなっている。しかし、「安全なまち」は245人、構成比40%が『思う』と答えており、前回調査26%に比べ、イメージが大きく向上している。



指標化による評価

	評価	前回評価	比較
個性的なまち	-1.007	-1.115	0.108
福祉がゆきとどいたまち	-1.062	-1.162	0.100
清潔できれいなまち	-0.983	-1.224	0.241
安全なまち	-0.464	-1.064	0.600
交通の便がよいまち	-2.053	-2.172	0.119
公害が少ないまち	0.435	0.471	-0.036
連帯感・人情味があるまち	-0.451	-0.449	-0.002
自然の豊かなまち	0.837	1.057	-0.220
活気のあるまち	-1.523	-1.677	0.154
生活するのに便利なまち	-1.231	-1.337	0.106
発展を続ける現代的なまち	-1.980	-2.014	0.034
文化的なまち	-1.517	-1.630	0.113
教育環境のよいまち	-1.110	-1.219	0.109
遊ぶところの多いまち	-2.087	-2.093	0.006
市民活動（ボランティア等社会貢献）しやすいまち	-1.141	-0.695	-0.446

そう思う×3点、やや思う×1点、さほど思わない×-1点、思わない×-3点で計算した1人あたり平均点
 ※わからない、無回答は0点

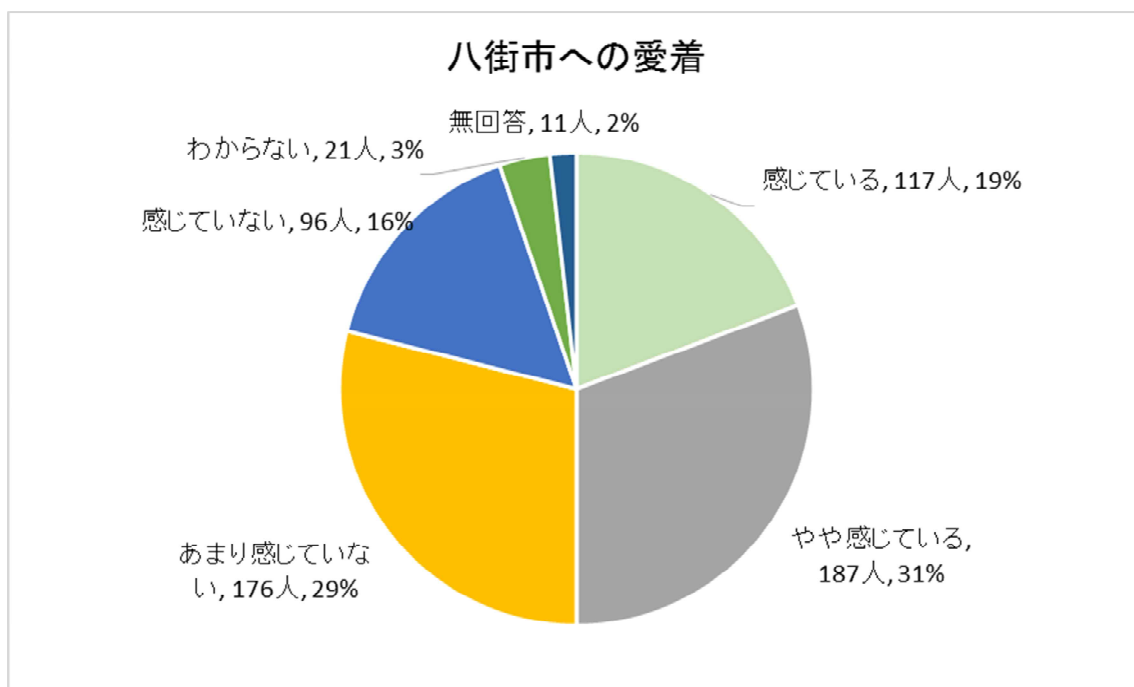


問2 八街市への愛着

あなたは、八街市に対して「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

(1つに○) (N=608)

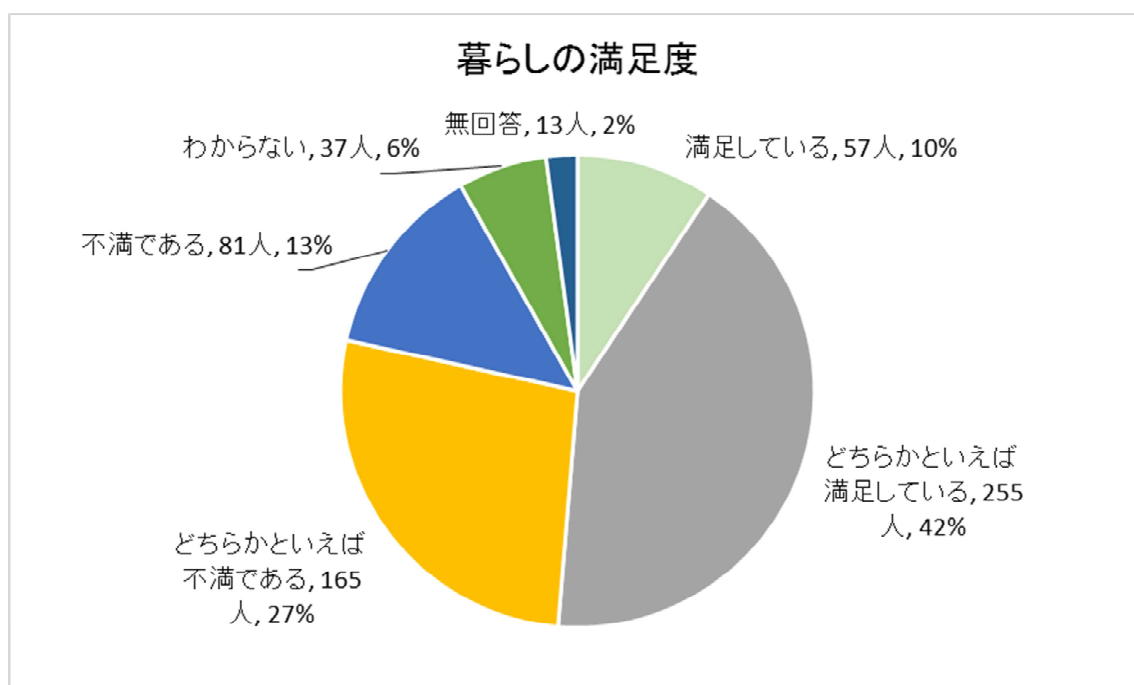
愛着を「感じている」と回答した人 117 人、構成比 19% (前回調査 17%) と「やや感じている」と回答した人 187 人、構成比 31% (前回調査 30%) を合わせた『感じている』は合計 304 人、構成比 50% (前回調査 47%) となっている。一方で、愛着を「あまり感じていない」と回答した人 176 人、構成比 29% (前回調査 30%) と「感じていない」と回答した人 96 人、構成比 16% (前回調査 17%) となっており、前回調査に比べ、愛着度を感じている人の構成比が高い傾向となっている。



問3 暮らしの満足度

あなたは、現在の暮らしに満足していますか。(1つに○) (N=608)

現在の暮らしに「満足している」と回答した人 57 人、構成比 10% (前回調査 7%) と「どちらかといえば満足している」と回答した人 255 人、構成比 42% (前回調査 34%) を合わせた『満足している』は合計 312 人、構成比 52% (前回調査 41%) となっている。一方で、現在の暮らしに「どちらかといえば不満である」と回答した人 165 人、構成比 27% (前回調査 31%) と「不満である」と回答した人 81 人、構成比 13% (前回調査 19%) となっており、前回調査に比べ、現在の暮らしに満足している人の構成比が高い傾向となっている。

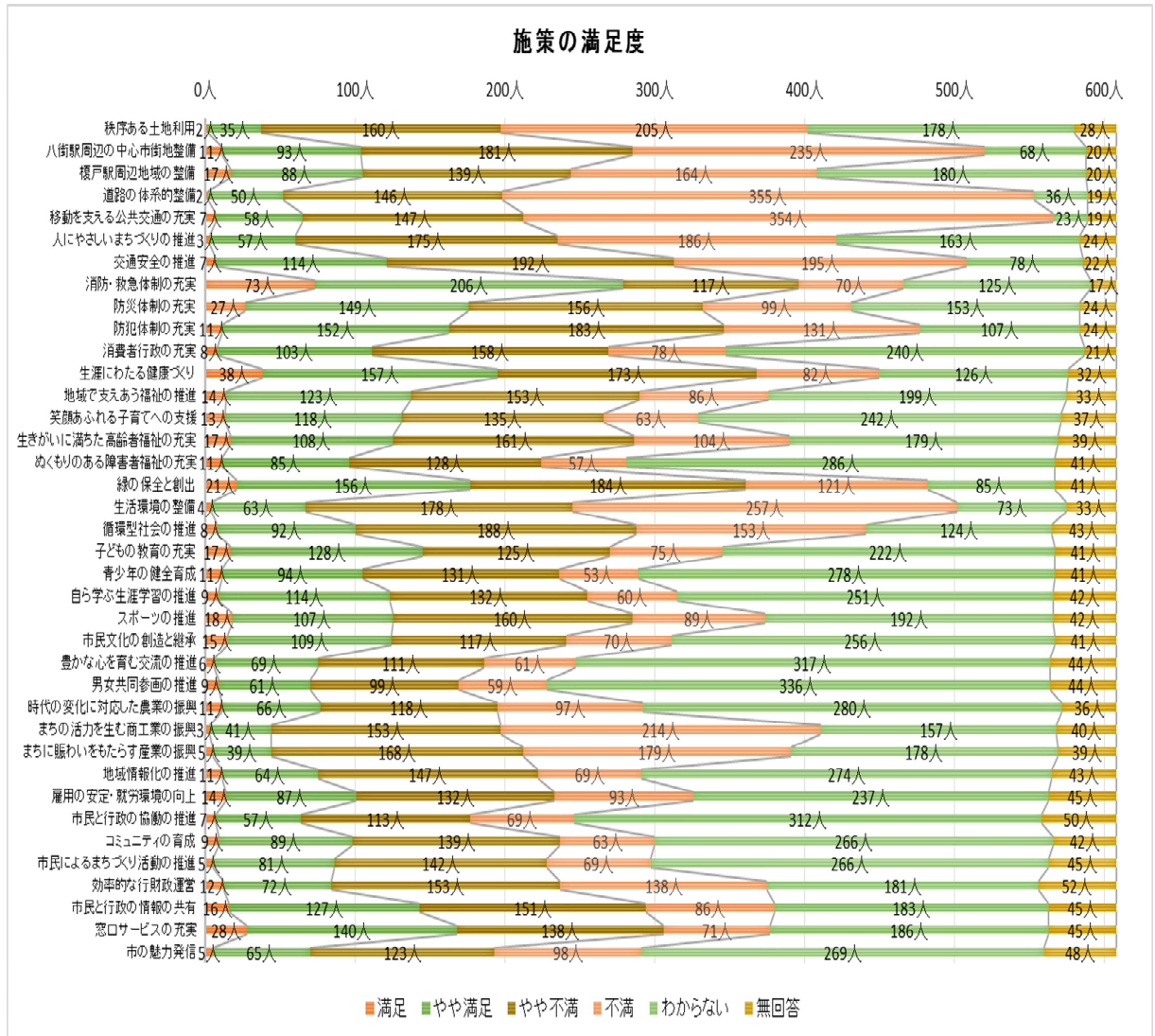


問4-1 満足度・重要度

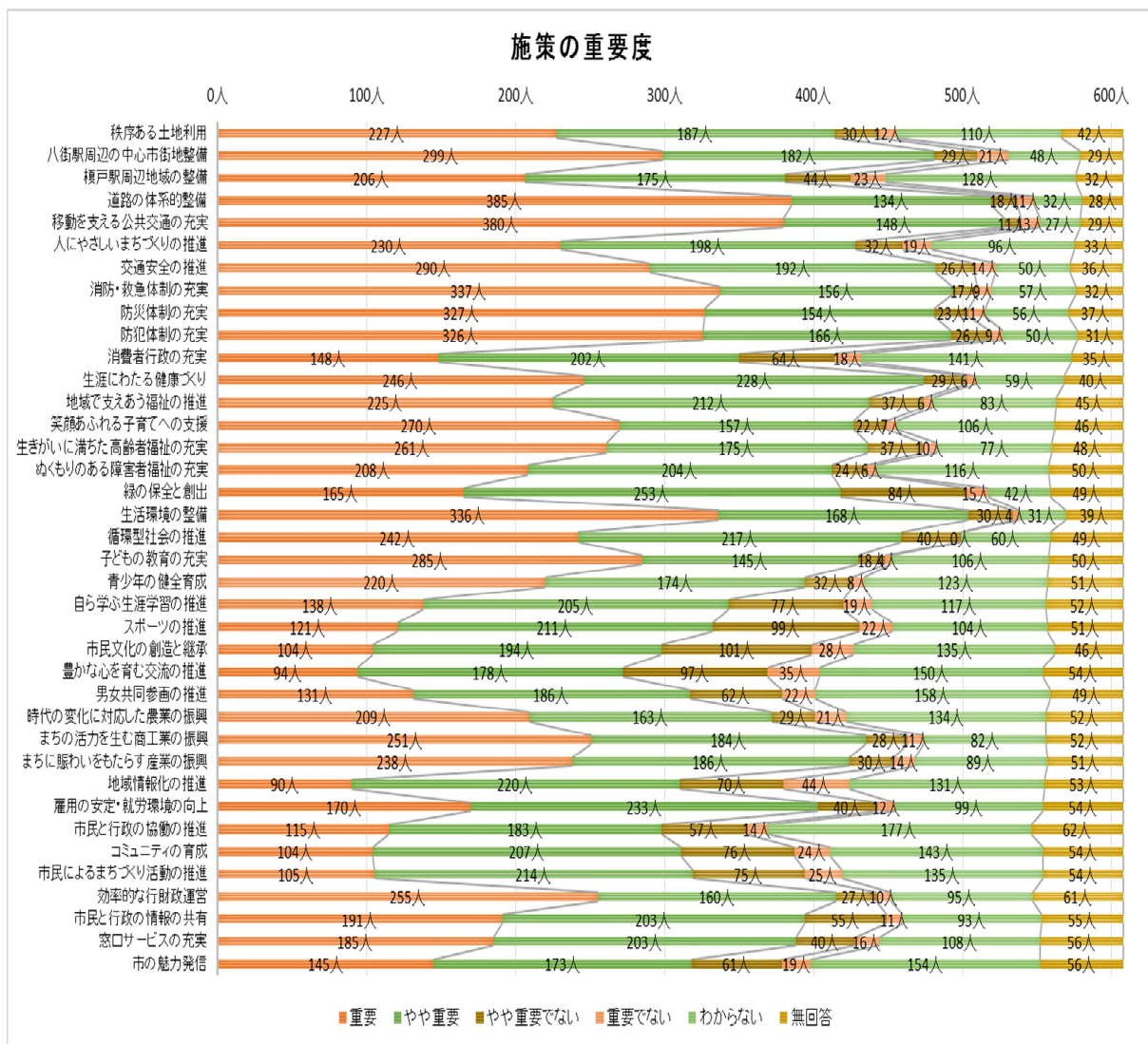
あなたは、次のそれぞれのことに関して満足していますか。また、今後の重要性をどのように感じていますか。(表中の満足度、重要度それぞれの項目ごと1つに○)
(N=608)

施策の満足度については、全体的に「やや不満」、「不満」を合わせた『不満』とする回答が多く、項目では「道路の体系的整備」、「移動を支える公共交通の充実」、「生活環境の整備」について『不満』とする割合が高く、前回調査と同様である。

「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』とする回答の多い項目は「消防・救急体制の充実」、「生涯にわたる健康づくり」、「緑の保全と創出」であるが、「緑の保全と創出」については前回調査より満足度が低くなっている。



施策の重要度については全体に「重要」、「やや重要」を合わせた『重要』とする回答が多い。項目では「道路の体系的整備」、「移動を支える公共交通の充実」、「生活環境の整備」について『重要』とする割合が高く、満足度の低い施策の重要度が高い傾向となっている。



八街市のまちづくり施策に関する満足度・重要度の相関図

		満足度平均点	重要度平均点
1	土地利用	-1.826	1.759
2	中心市街地整備	-1.462	1.859
3	榎戸駅周辺地域整備	-1.206	1.518
4	道路体系的整備	-2.089	2.259
5	公共交通充実	-1.996	2.243
6	人にやさしいまちづくり推進	-1.584	1.668
7	交通安全推進	-1.264	1.904
8	消防・救急整備	0.210	2.164
9	防災体制	-0.517	2.095
10	防犯体制	-0.820	2.070
11	消費者行政充実	-0.764	1.222
12	健康づくり	-0.329	1.806
13	福祉の推進	-0.654	1.733
14	子育て支援	-0.508	2.026
15	高齢者福祉充実	-0.805	1.845
16	障害者福祉充実	-0.644	1.778
17	緑の保全	-0.680	1.197
18	生活環境整備	-1.741	2.108
19	循環型社会の推進	-1.204	1.810
20	教育充実	-0.496	2.146
21	青少年健全育成	-0.564	1.793
22	生涯学習推進	-0.543	1.105
23	スポーツ推進	-0.711	0.903
24	市民文化の創造	-0.556	0.752
25	交流推進	-0.838	0.639
26	男女共同参画推進	-0.825	1.125
27	農業振興	-1.062	1.654
28	商工業振興	-1.813	1.848
29	産業振興	-1.665	1.769
30	地域情報化推進	-0.883	0.679
31	就労環境向上	-0.865	1.466
32	市民協働推進	-0.984	1.163
33	コミュニティ育成	-0.707	0.903
34	市民によるまちづくり推進	-0.852	0.905
35	効率的な行財政運営	-1.224	1.920
36	情報共有	-0.616	1.496
37	窓口サービス充実	-0.337	1.509
38	市の魅力発信	-1.158	1.231
39	平均	-0.963	1.581

満足度

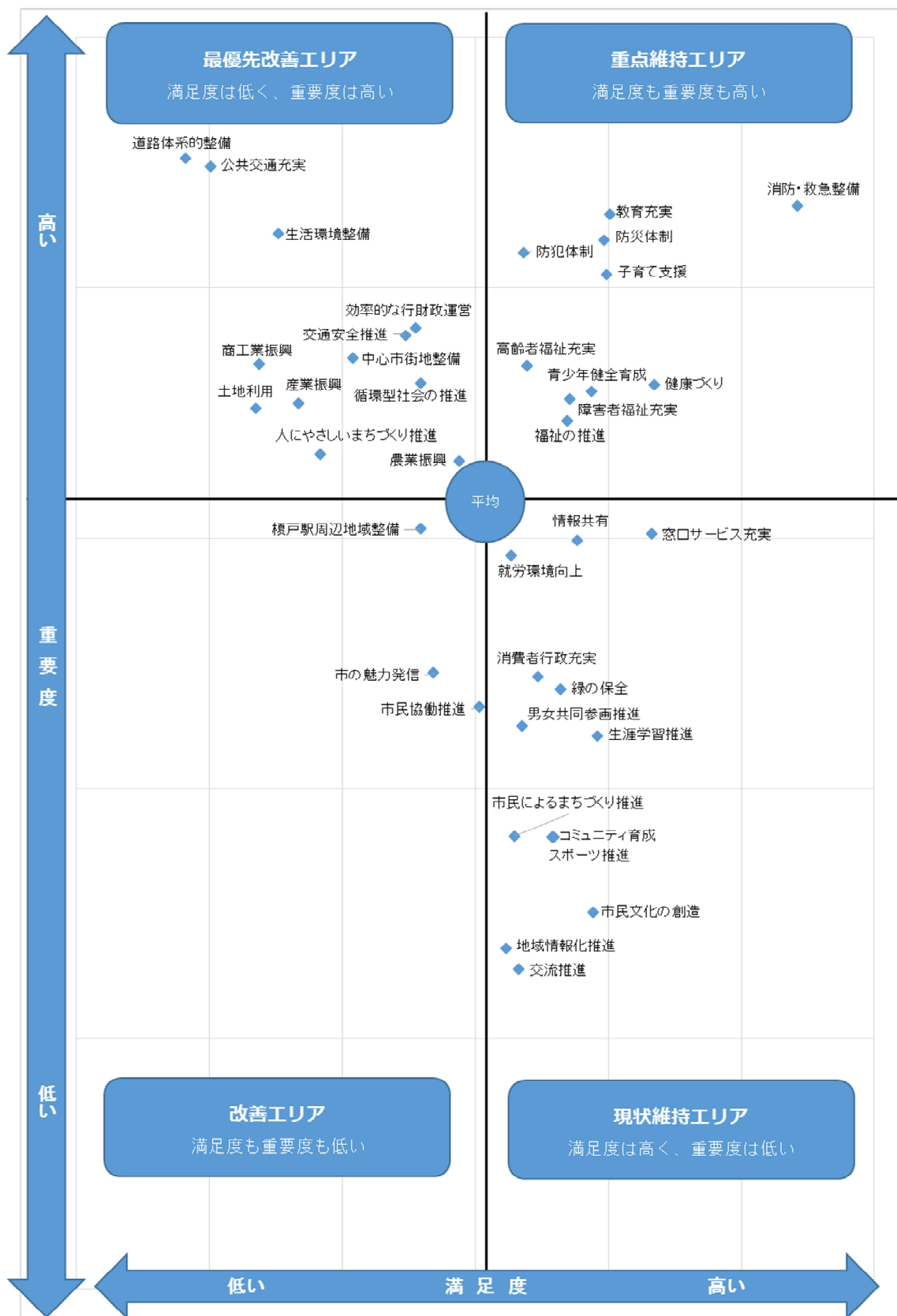
満足×3点、やや満足×1点、やや不満足×-1点、不満足×-3点で
計算した1人あたり平均点

重要度

重要×3点、やや重要×1点、さほど重要でない×-1点、重要でない×-3点で
計算した1人あたり平均点

※わからない、無回答は0点

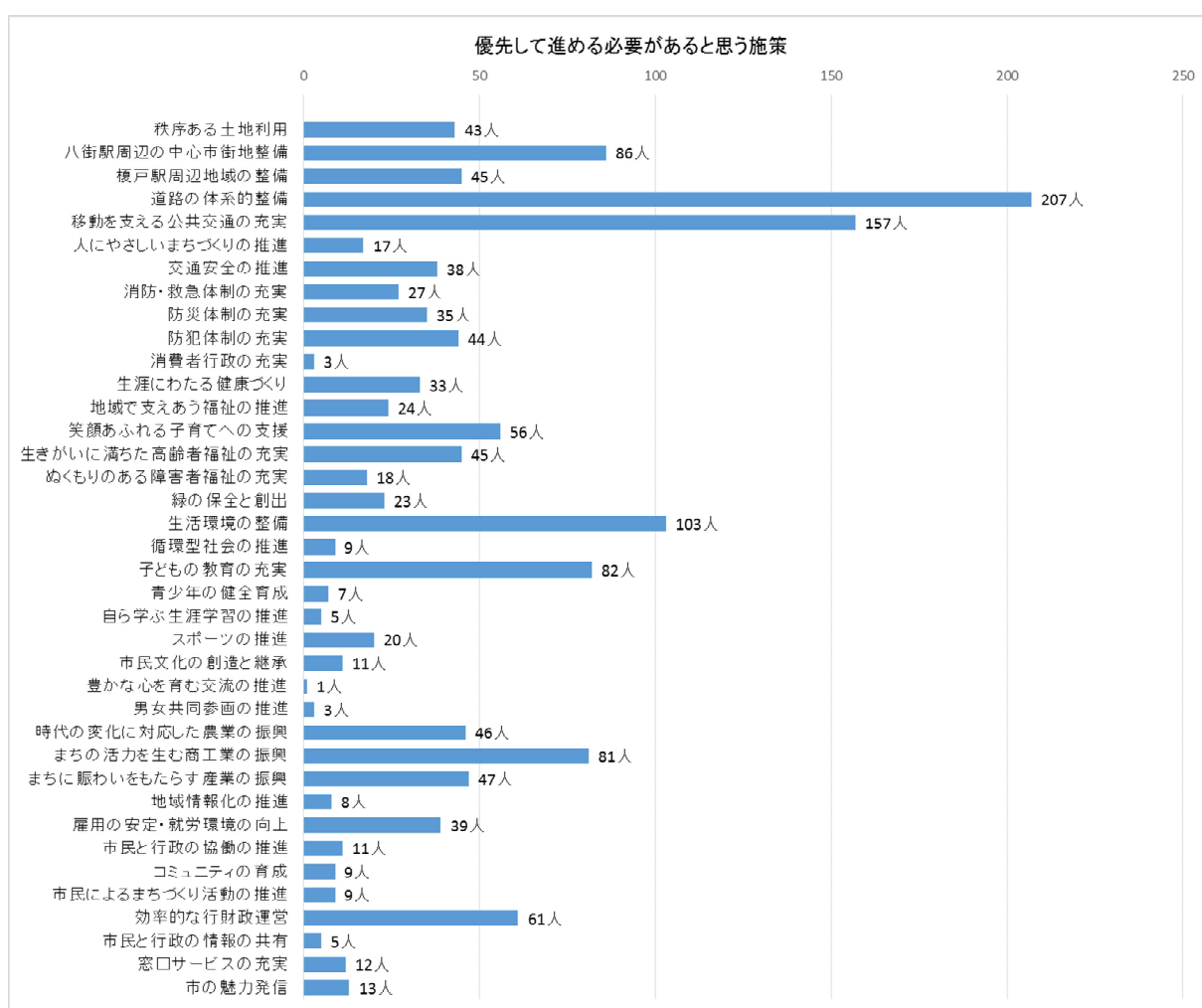
八街市のまちづくり施策に関する満足度・重要度の相関図



問4-2 優先して進める必要がある施策

問4-1の項目の中で、特に優先して進める必要があると思うものはどれですか。(3つまで○) (N=608)

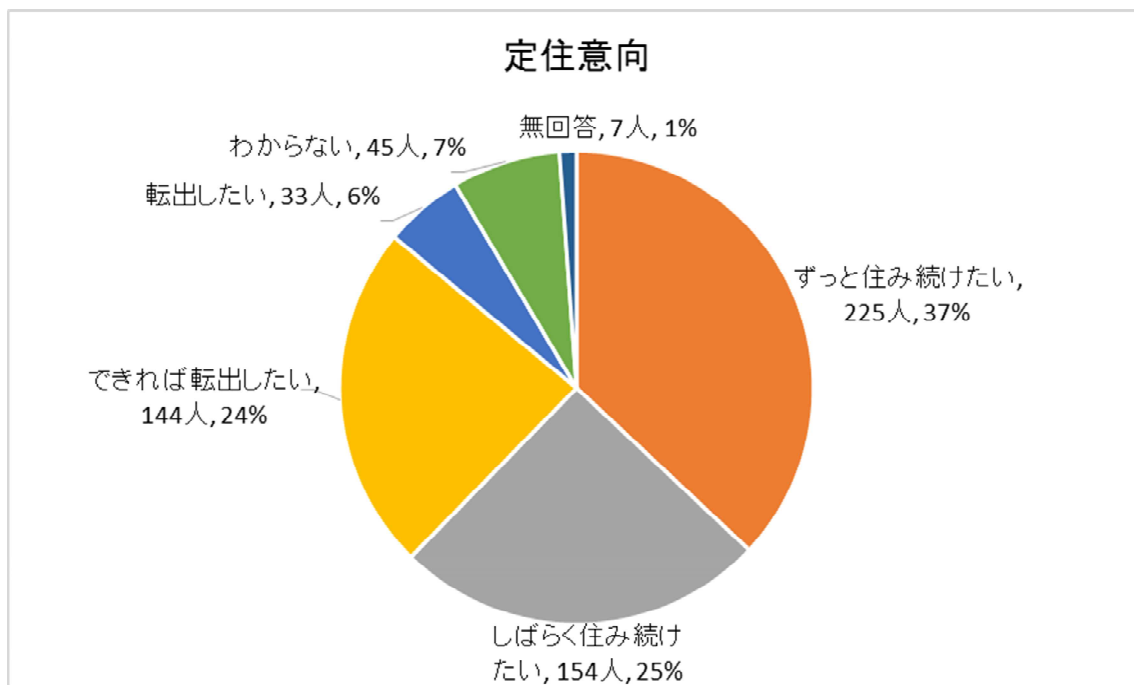
上位第3位まで見ると、第1位「道路の体系的整備」207人、第2位「移動を支える公共交通の充実」157人、第3位「生活環境の整備」103人となっており、前回調査と同様の傾向となっている。また、上位第3位の施策については、問4-1の結果において、現在『不満』と感じている人が多い施策となっている。



問5-1 定住意向

あなたは、今後も八街市に住み続けたいと思いますか。(1つに○) (N=608)

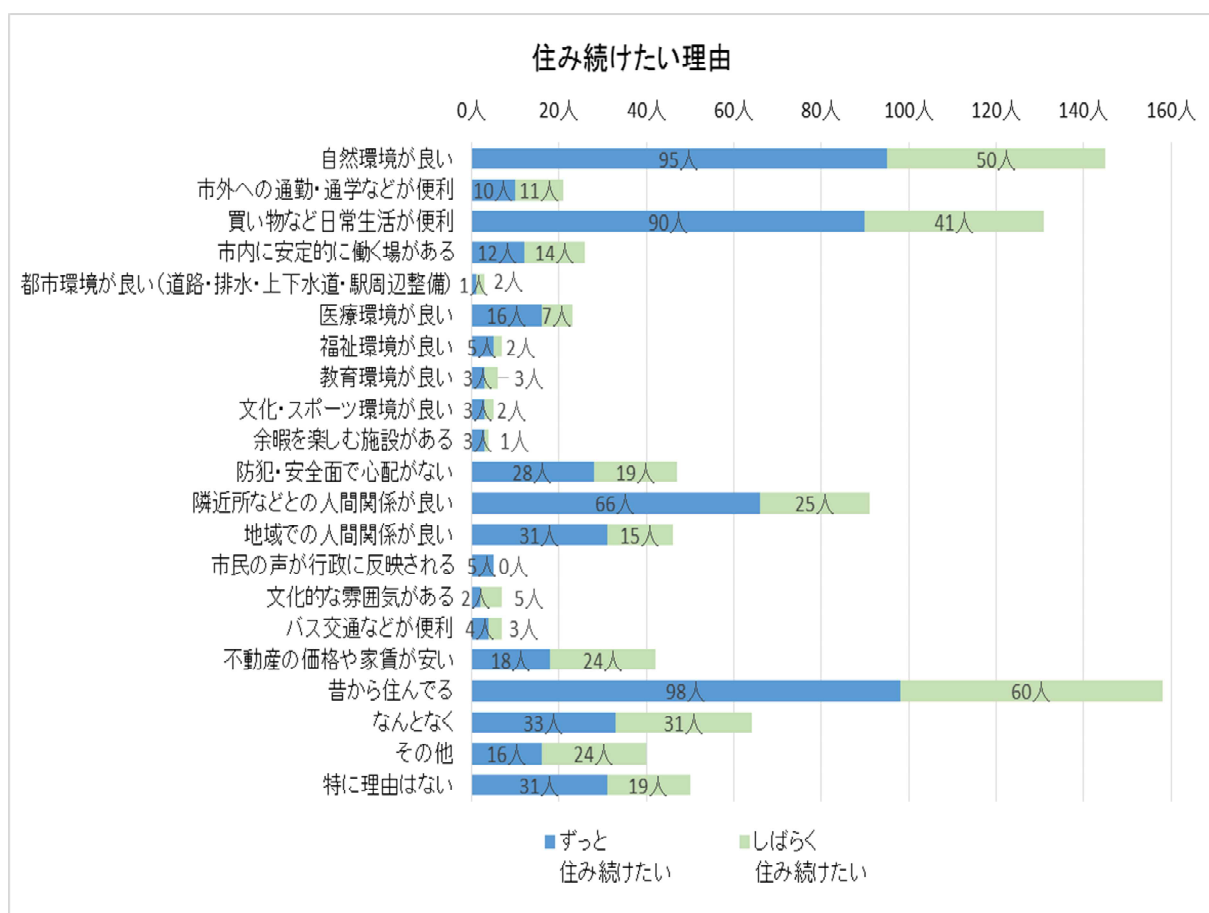
今後も八街市に「ずっと住み続けたい」と回答した人 225 人、構成比 37% (前回調査 34%) と「しばらく住み続けたい」と回答した人 154 人、構成比 25% (前回調査 23%) を合わせた『住み続けたい』は合計 379 人、構成比 62% (前回調査 57%) となっている。一方で、「できれば転出したい」と回答した人 144 人、構成比 24% (前回調査 25%) と「転出したい」と回答した人 33 人、構成比 6% (前回調査 6%) となっており、前回調査に比べ、八街市での定住意向が高い傾向となっている。



問5-2 住みたい理由

問5-1で「ずっと住みたい」、「しばらく住みたい」と回答された方にその理由を伺います。(3つまで○) (N=379)

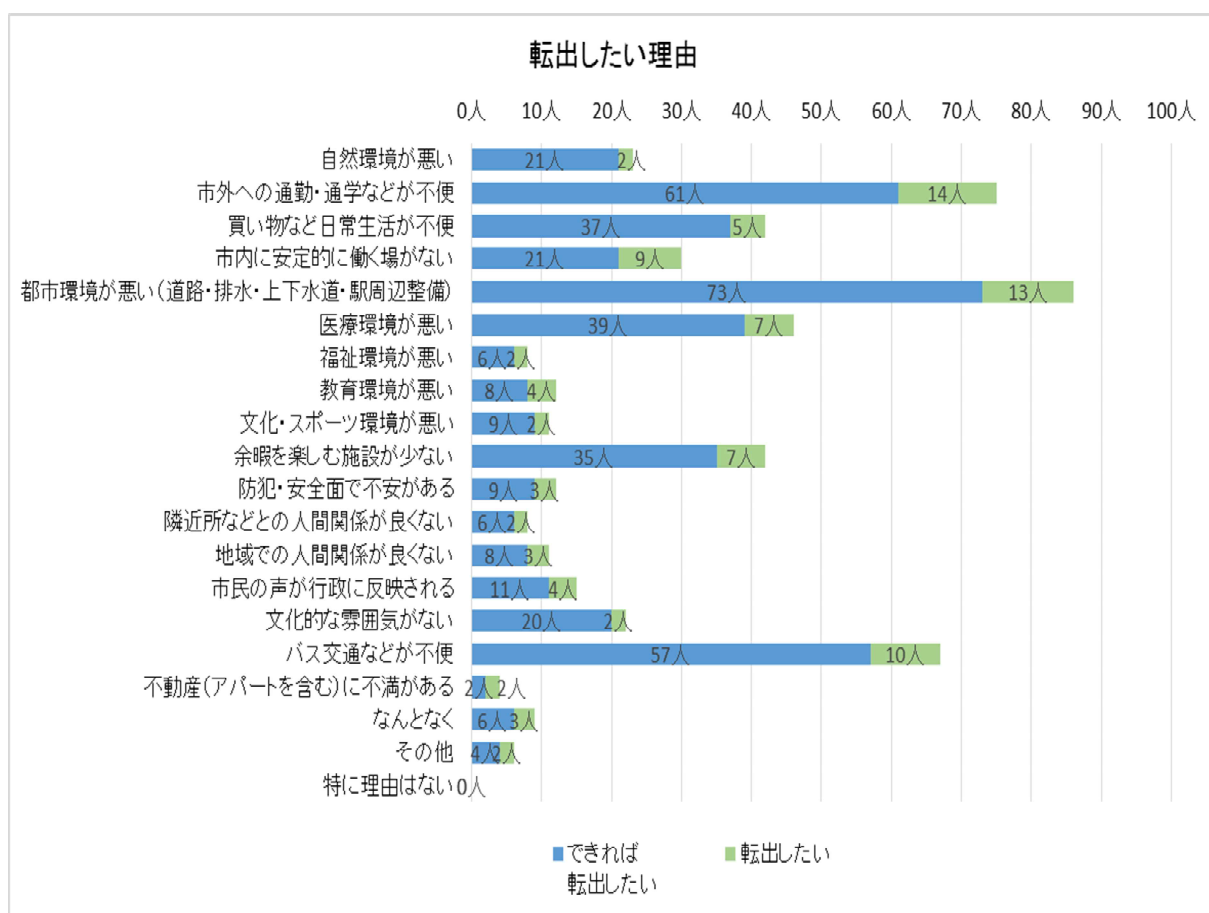
『住みたい』理由は、上位第3位まで見ると、第1位「昔から住んでいる」158人、第2位「自然環境が良い」145人、第3位「買い物など日常生活が便利」131人となっており、前回調査と同様の傾向となっている。



問5-3 転出したい理由

問5-1で「できれば転出したい」、「転出したい」と回答された方にその理由を伺います。(3つまで○) (N=177)

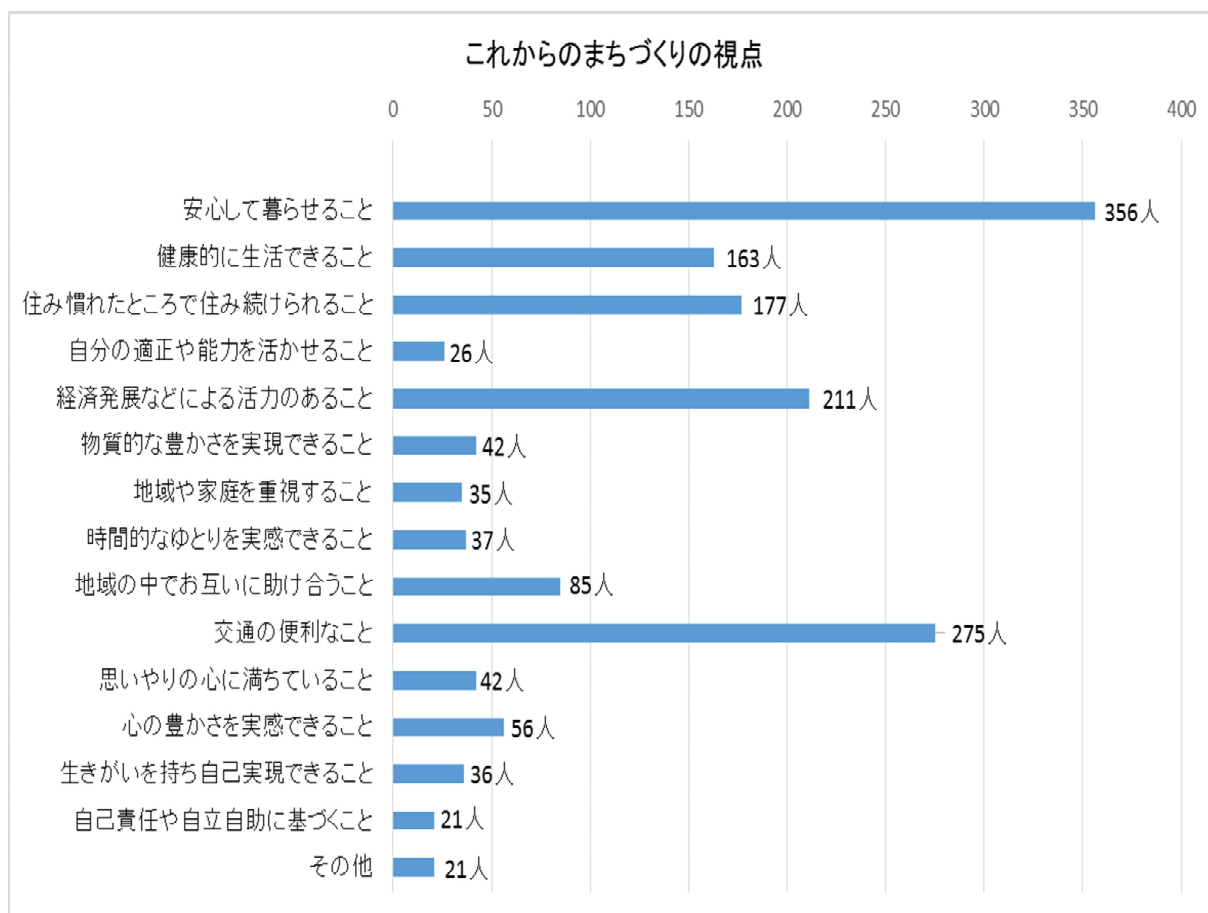
『転出したい』理由は、上位第3位まで見ると、第1位「都市環境が悪い(道路・排水・上下水道・駅周辺整備)」86人、第2位「市外への通勤・通学が不便」75人、第3位「バス交通などが不便」67人となっており、前回調査と同様の傾向となっている。



問6 これからのまちづくりの視点

あなたは、これからの八街市のまちづくりには、どのような視点が必要だと考えますか。（3つまで○）（N=608）

これからの八街市のまちづくりに必要な視点の、上位第3位まで見ると、第1位「安心して暮らせること」356人、第2位「交通の便利なこと」275人、第3位「経済発展などによる活力のあること」211人となっており、前回調査と同様の傾向となっている。

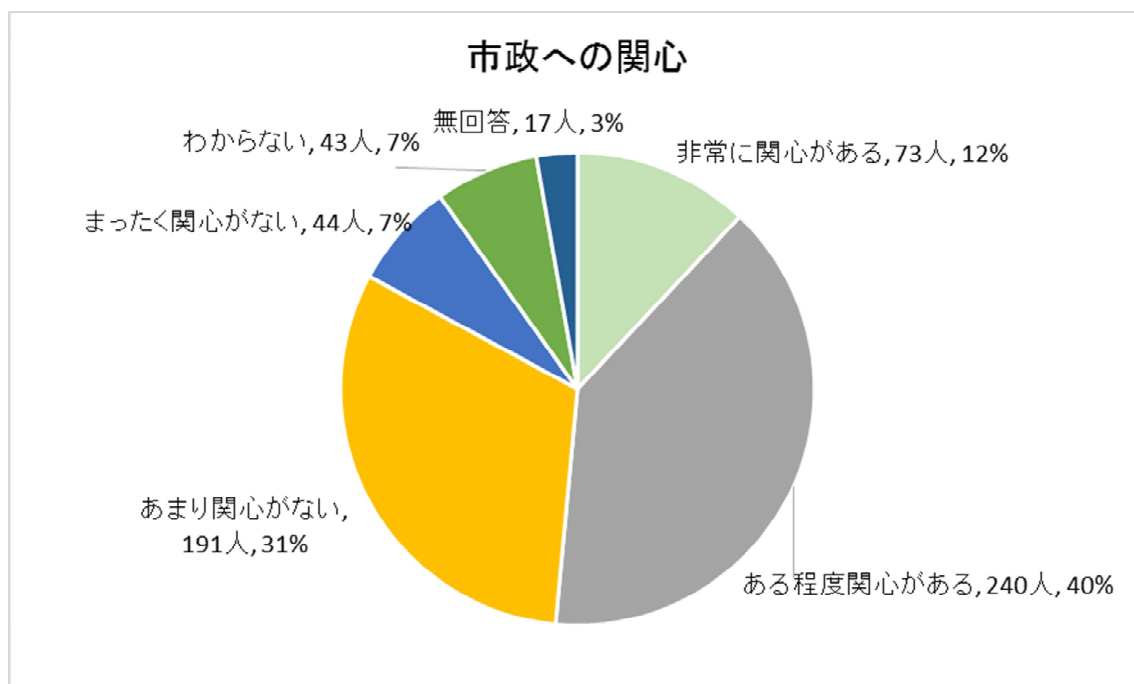


(3) 市民参加、市民協働について

問7-1 市政への関心

あなたは、八街市の市政に関心を持っていますか。(1つに○) (N=608)

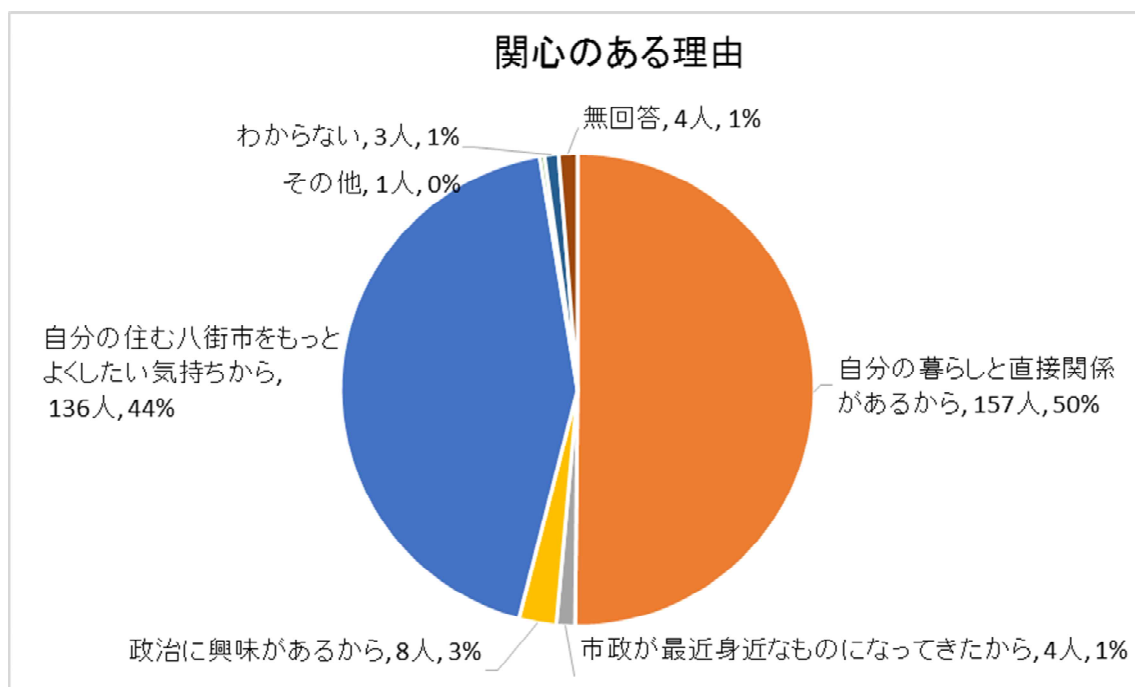
八街市の市政に「非常に関心がある」と回答した人 73 人、構成比 12% (前回調査 11%) と「ある程度関心がある」と回答した人 240 人、構成比 40% (前回調査 42%) を合わせた『関心がある』は合計 313 人、構成比 52% (前回調査 53%) となっている。一方で、「あまり関心がない」と回答した人 191 人、構成比 31% (前回調査 31%) と「まったく関心がない」と回答した人 44 人、構成比 7% (前回調査 7%) となっており、前回の調査と同様の傾向となっている。



問7-2 関心のある理由

問7-1で「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答された方に伺います。市政に関心を持たれる理由はどのような気持ちからですか。(1つに○) (N=313)

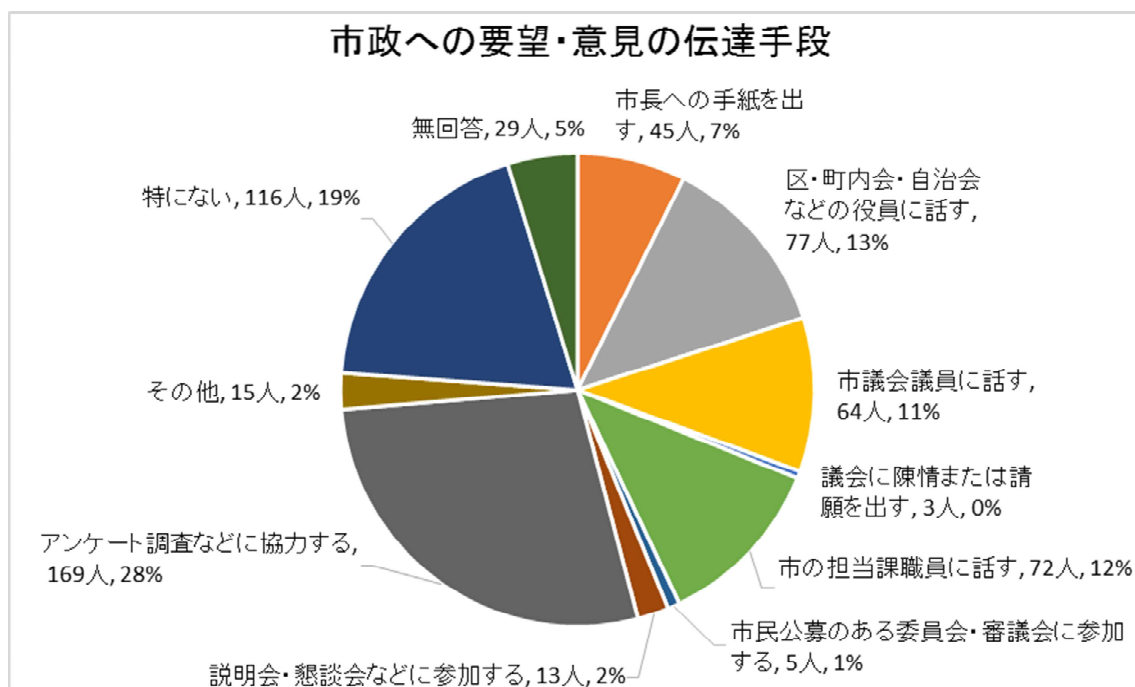
『関心がある』理由をみると、第1位「自分の暮らしと直接関係があるから」157人、構成比50%（前回調査54%）、第2位「自分の住む八街市をもっとよくしたい気持ちから」136人、構成比44%（前回調査38%）となっており、全体の9割を超える。



問7-3 市政への要望・意見の伝達手段

あなたは、市政に対する要望・意見などをどのような方法や手法で伝えようと思いますか。(3つまで○) (N=608)

『アンケート調査などに協力する』と回答した人が169人、構成比28%（前回調査34%）で最も多く、次いで「区・町内会・自治会などの役員に話す」と回答した人が77人、構成比13%（前回調査13%）となっている。一方で市政への要望・意見などの伝達手段が「特にない」と回答している人が116人、構成比19%（前回調査16%）と全体の2割いる結果となっている。

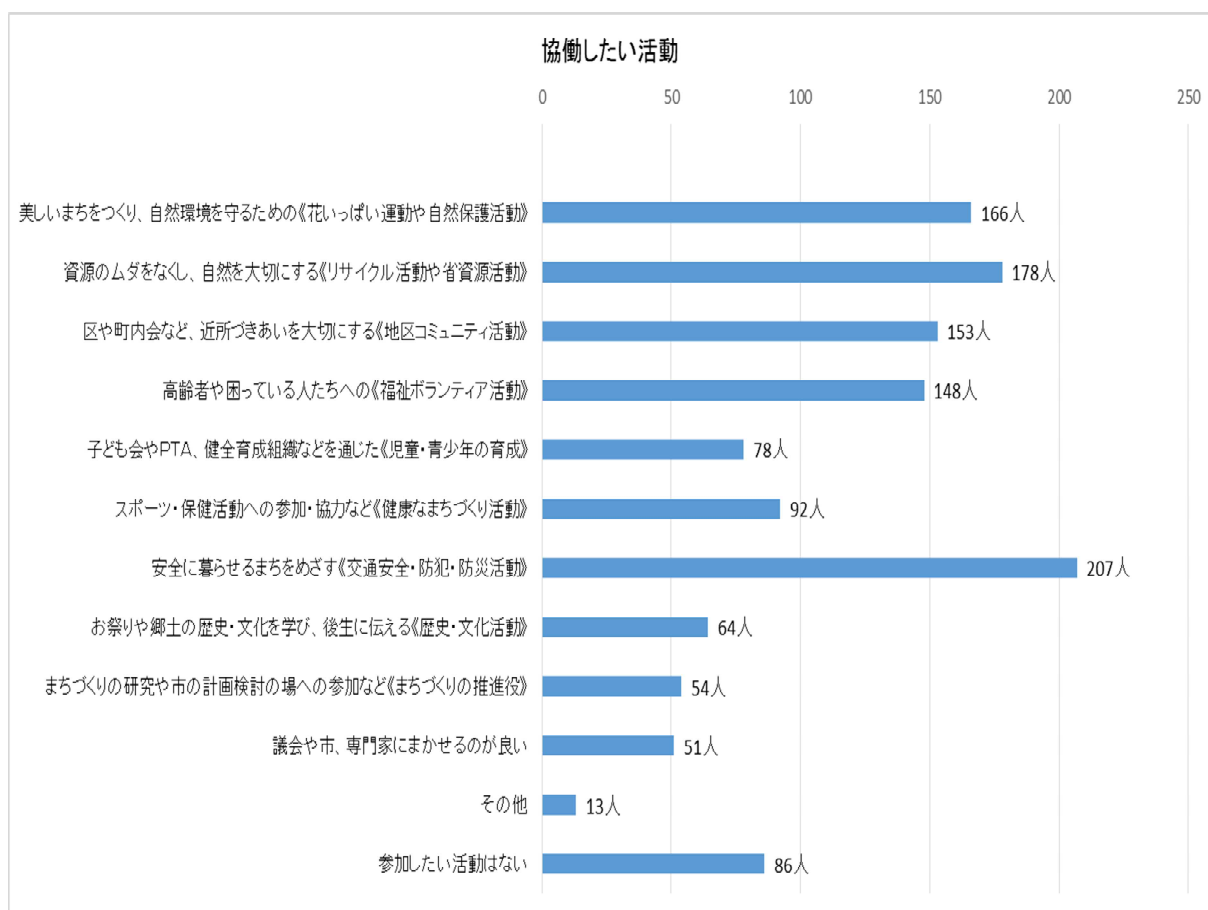


問8 協働したい活動

これからのまちづくりは、市民と行政がお互いの役割を理解し、地域や社会の課題に取り組んでいく協働のまちづくりが求められています。「市民のだれもが何かを受け持つ」としたら、あなたはどのような活動したい（できる）と考えますか。

（3つまで○）（N=608）

「安全に暮らせるまちをめざす《交通安全・防犯・防災活動》」と回答した人が207人と最も多く、次いで「資源のムダをなくし、自然を大切にする《リサイクル活動や省資源活動》」178人、「美しいまちをつくり、自然環境を守るための《花いっぱい運動や自然保護活動》」166人となり、前回調査と同様の傾向となっている。

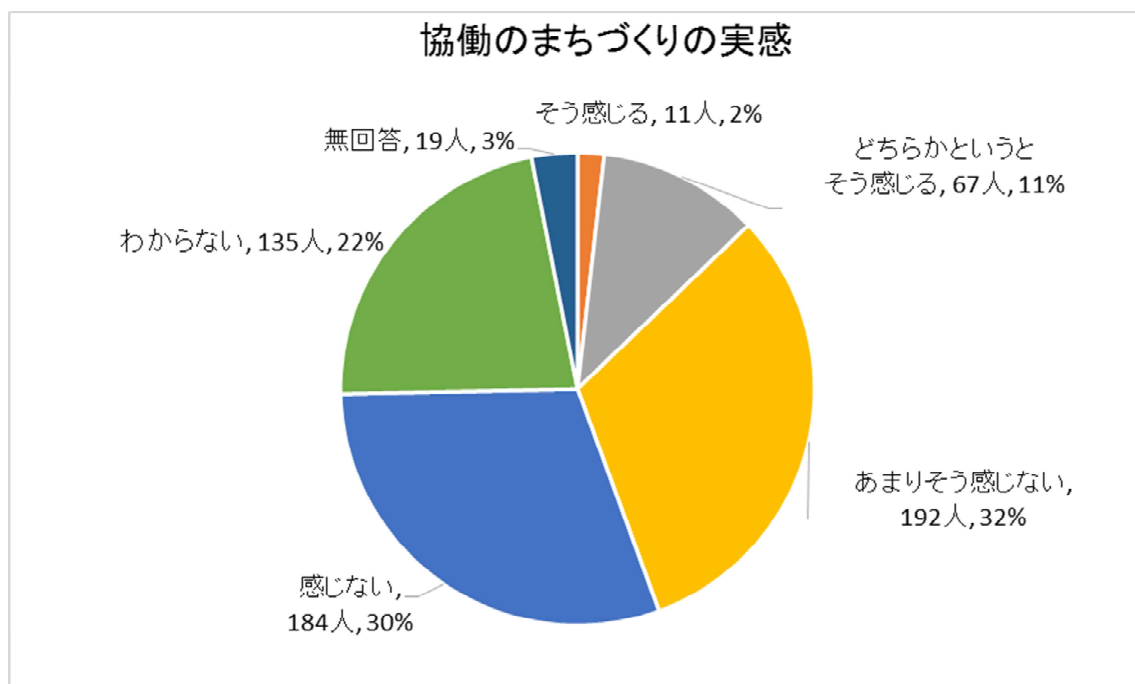


問9 協働のまちづくりの実感

あなたは、八街市で市民協働のまちづくりが進んでいると感じますか。

(1つだけ○) (N=608)

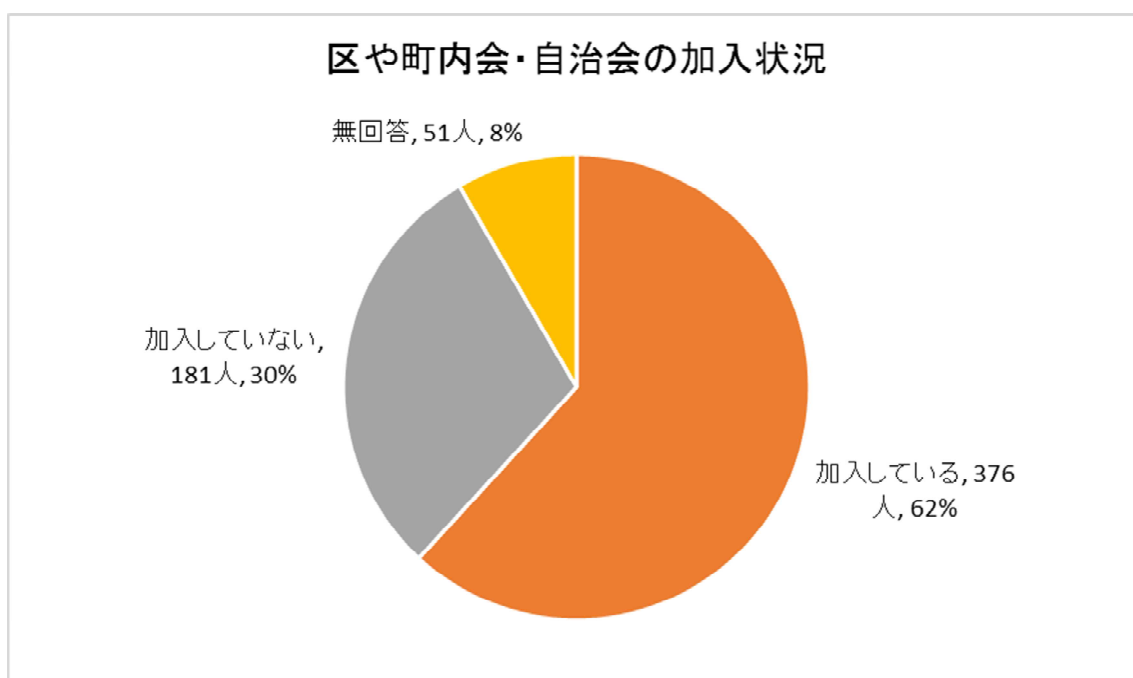
「そう感じる」と回答した人 11 人、構成比 2% (前回調査 1%) と「どちらかという
うとそう感じる」と回答した人 67 人、構成比 11% (前回調査 8%) を合わせた『感じる』
は合計 78 人、構成比 13% (前回調査 9%) となっている。一方で、「あまりそう
感じない」と回答した人 192 人、構成比 32% (前回調査 37%) と「感じない」と回答
した人 184 人、構成比 30% (前回調査 34%) となっており、八街市の協働のまちづく
りについて実感していないという回答が全体の 6 割を超える。しかし、前回調査と比
べると、肯定的な意見が高い結果となっている。



問10-1 区や町内会・自治会の加入状況

あなたは、区や町内会・自治会に加入していますか。(1つだけ○) (N=608)

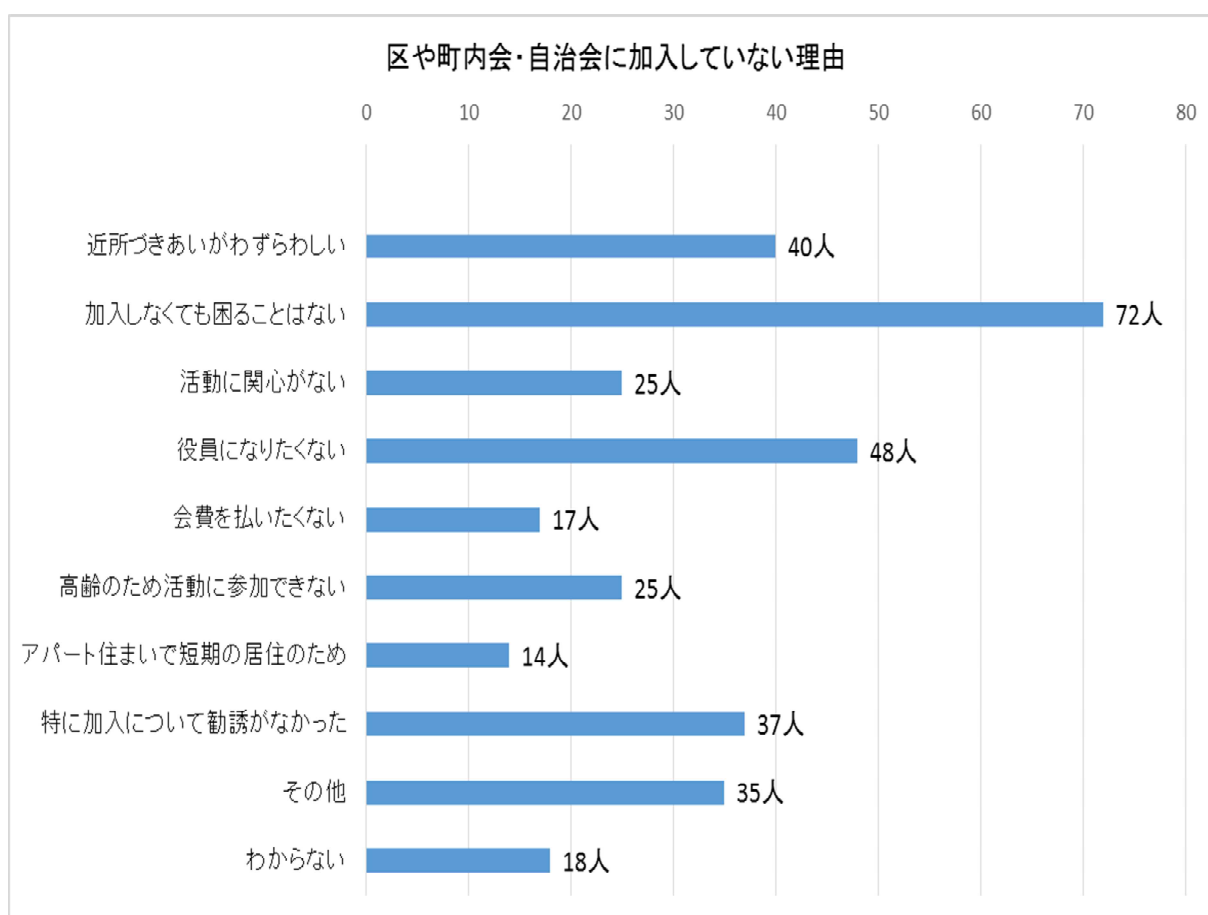
「加入している」と回答した人が376人、構成比62%（前回調査71%）だが、「加入していない」と回答した人が181人、構成比30%（前回調査27%）を占め、前回調査と比べ、加入していない構成比が高い傾向となっている。



問10-2 区や町内会・自治会に加入していない理由

問10-1で「加入していない」と回答された方に区や町内会・自治会に加入していない理由を伺います。(3つまで○) (N=181)

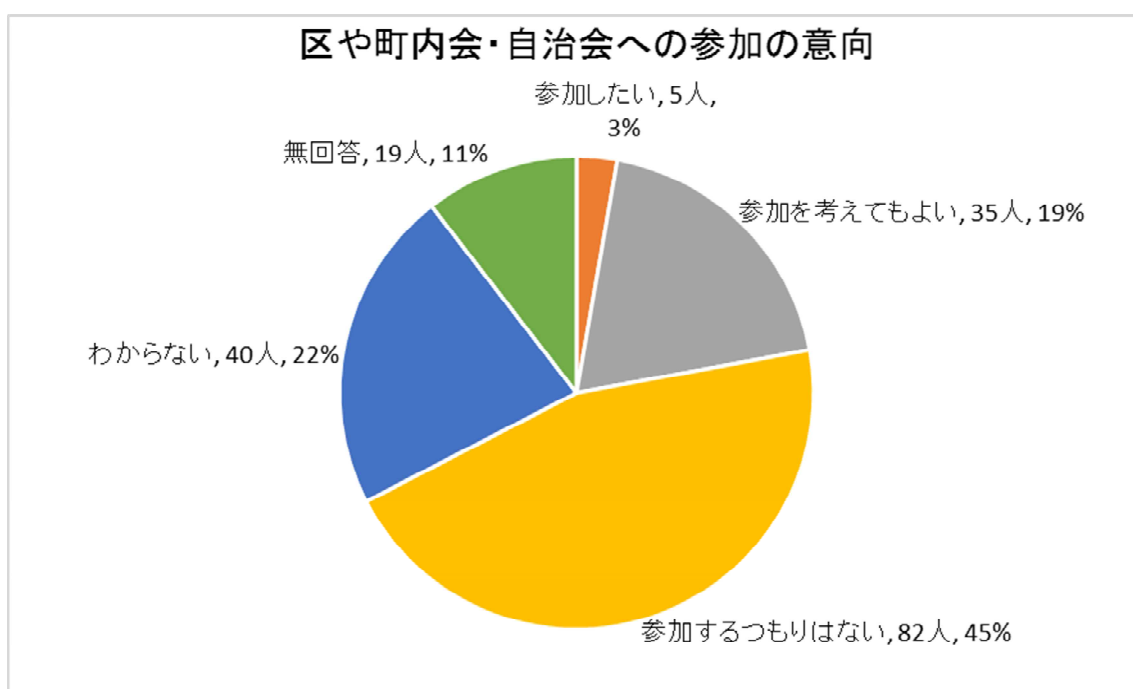
「加入しなくても困ることはない」と回答した人が72人と最も多く、次いで「役員になりたくない」48人、「近所づきあいがわずらわしい」40人となっている。前回調査に比べ、「近所づきあいがわずらわしい」ことを理由に加入していない人の構成比が高い結果となっている。



問10-3 区や町内会・自治会の参加の意向

問10-1で「加入していない」と回答された方に、今後、区や町内会・自治会に参加したいと思いませんか。(1つに○) (N=181)

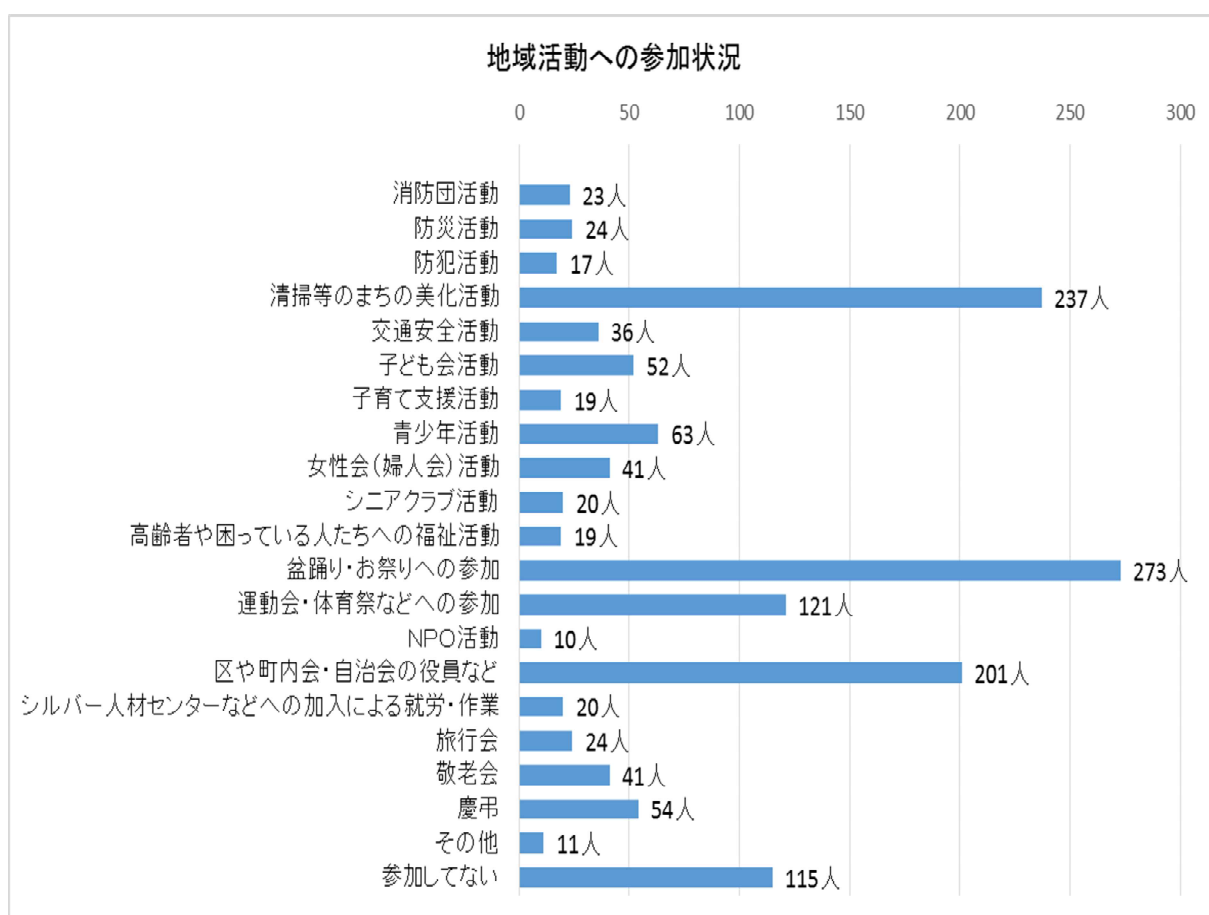
「参加するつもりはない」と回答する人が82人、構成比45%（前回調査48%）と全体の5割近くに及び、「参加したい」5人、構成比3%（前回調査3%）、「参加を考えたもよい」35人、構成比19%（前回調査18%）を合わせた『参加したい』は全体の2割程度にとどまる。



問 1 1 地域活動への参加状況

あなたは、下記の地域の活動に参加していますか。(参加したことはありますか。)(あてはまるものすべてに○) (N=608)

「盆踊り・お祭りへの参加」と回答した人が273人と最も多く、次いで「清掃等のまちの美化活動」237人、「区や町内会・自治会の役員など」201人となっている。一方で「参加していない」と回答する人も115人おり、前回調査と同様の傾向となっている。

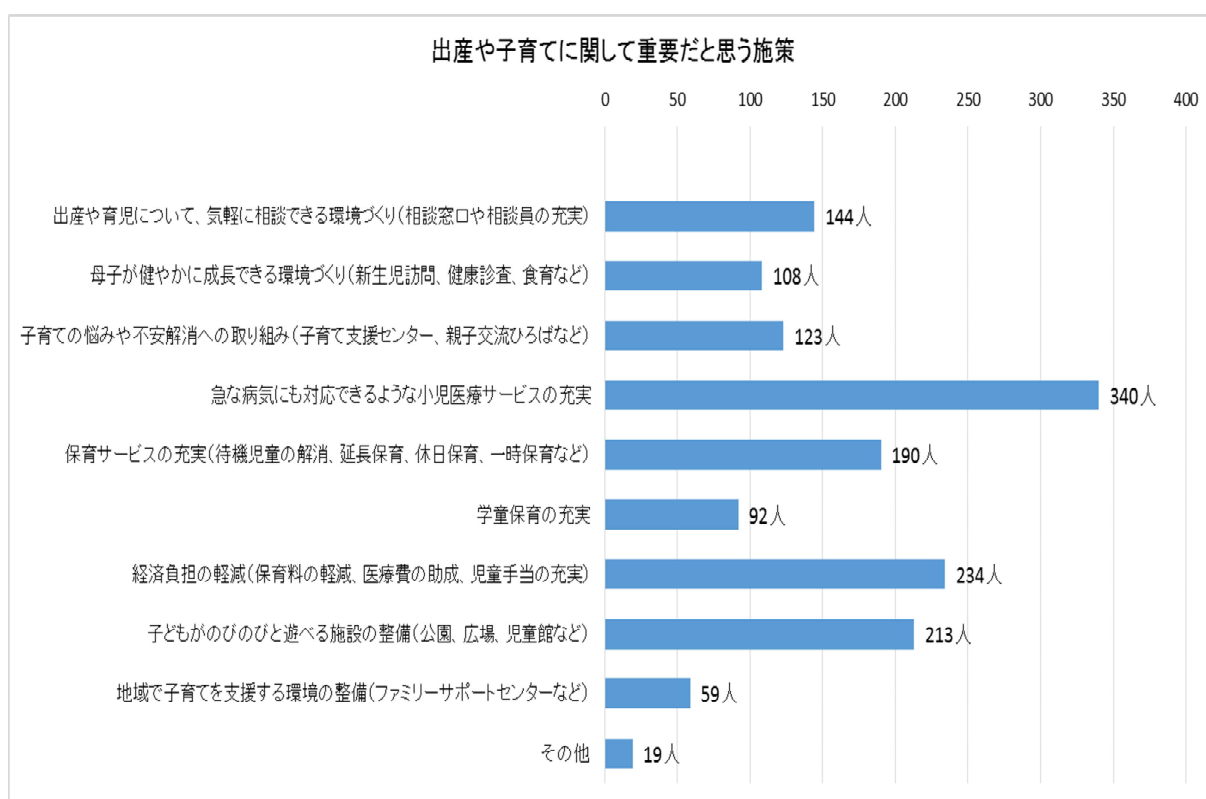


(4) 個別の施策について

問12 出産や子育てに関して重要だと考える施策

あなたは、出産や子育てがしやすい環境を整えていくためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで○) (N=608)

「急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実」と回答した人が340人と最も多く、次いで「経済負担の軽減(保育料の軽減、医療費の助成、児童手当の充実)」234人、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備(公園、広場、児童館など)」213人となっており、前回調査と同様の傾向となっている。



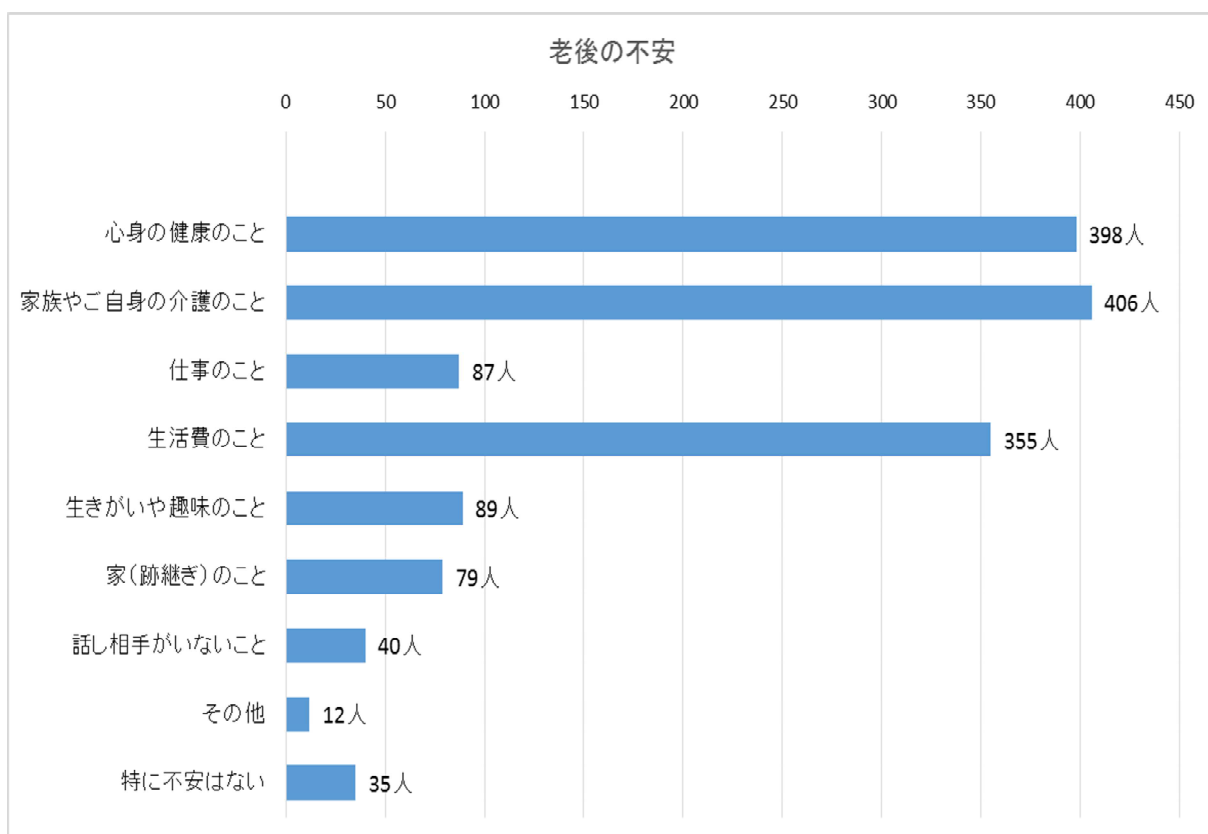
※その他の内訳

産婦人科の誘致	8人
道路・交通の整備	3人
不妊治療に対する経済的援助	1人
街の発展	1人
すべて行政が責任を負うべき	1人
病院の待ち時間の改善(待ち時間が長すぎる。)	1人
具体的記載なし	4人

問13-1 老後の不安

あなたは、ご自分の老後を考えたとき、どのようなことに不安を感じますか。
(3つまで○) (N=608)

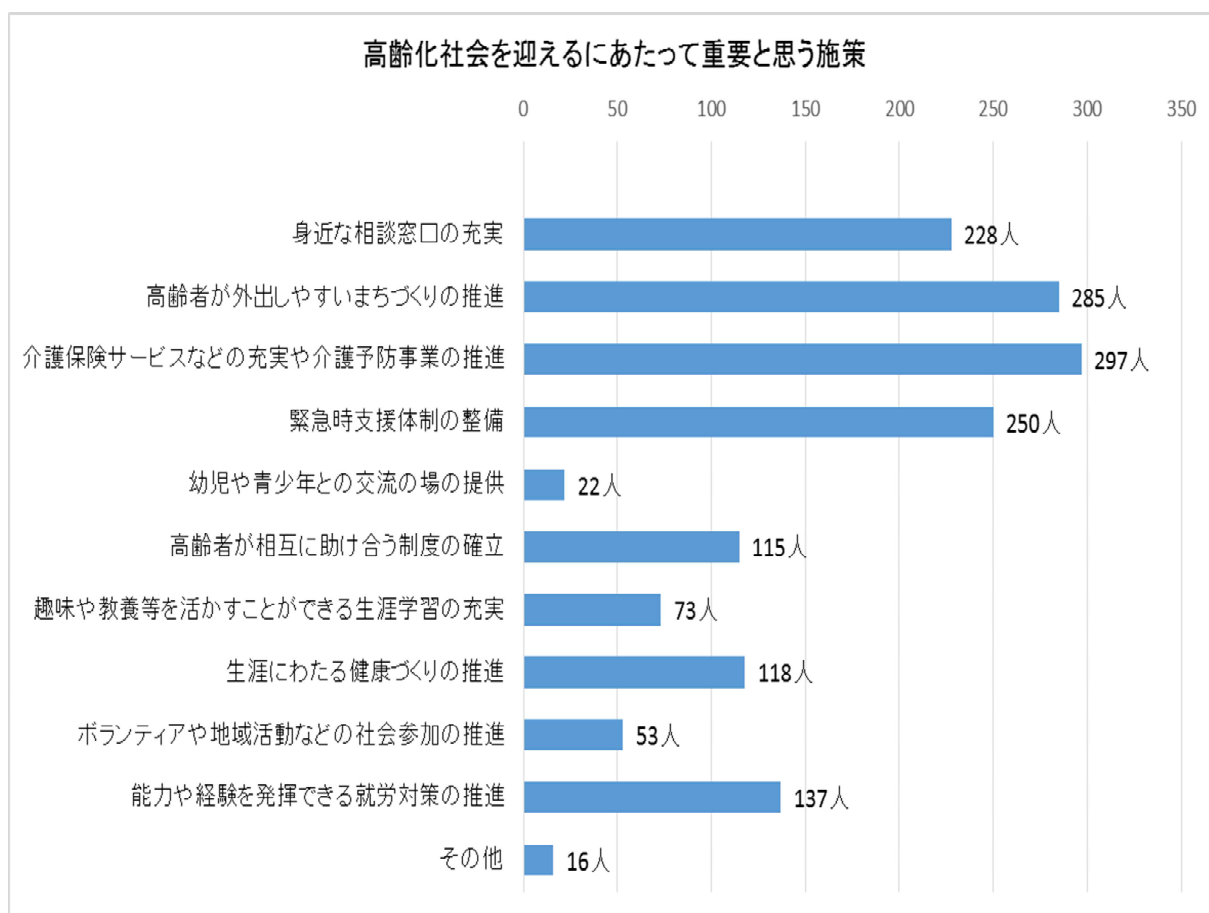
「家族やご自身の介護のこと」と回答した人が406人と最も多く、次いで「心身の健康のこと」398人、「生活費のこと」355人となっており、前回調査と同様の傾向となっている。



問13-2 高齢社会を迎えるにあたって重要と思う施策

今後、本格的な高齢社会を迎えるにあたり、あなたはどのようなことが重要になると考えますか。(3つまで○) (N=608)

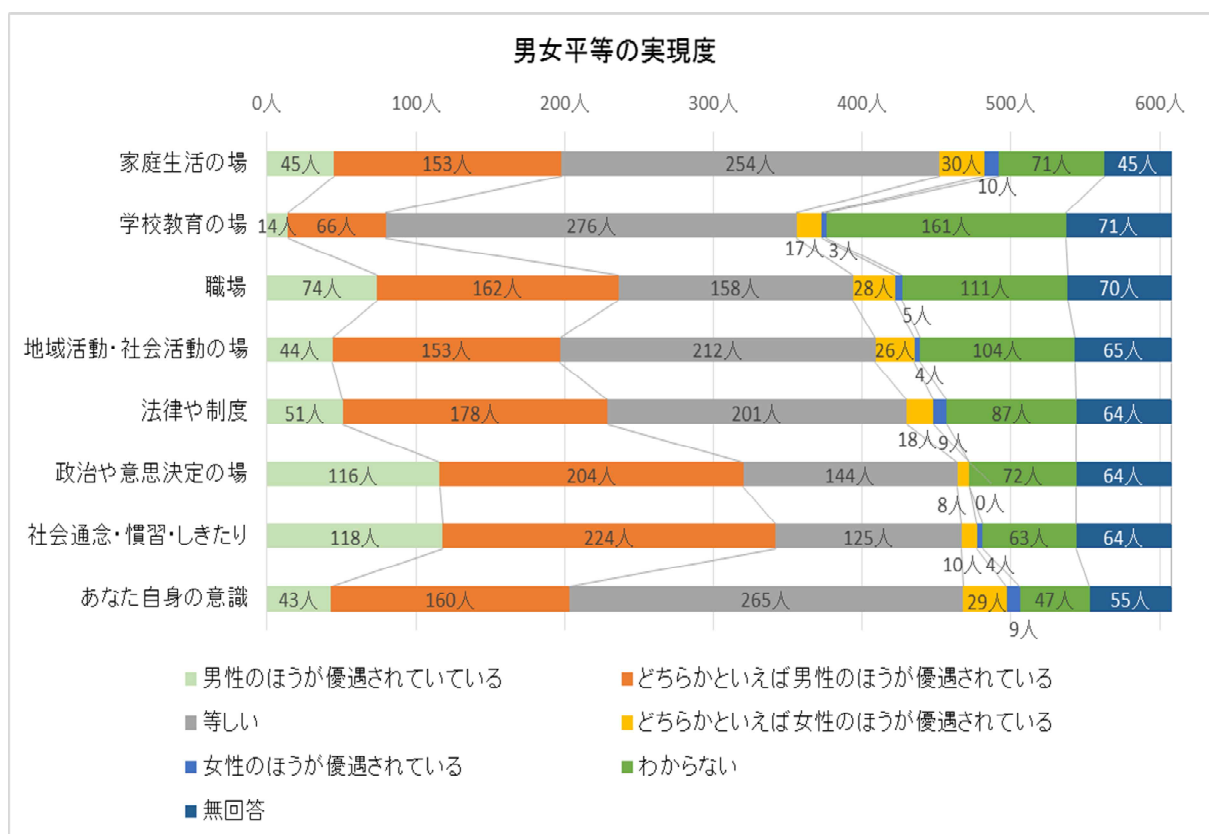
「介護保険サービスなどの充実や介護予防事業の推進」と回答した人が297人と最も多く、次いで「高齢者が外出しやすいまちづくりの推進」285人、「緊急時支援体制の整備」250人となっている。前回調査と同様の傾向となっている。



問14 男女平等の実現度

あなたは、現在次のような場面で男性・女性とも変わらず等しい扱いを受けていると思いますか。(項目ごとに1つに○) (N=608)

「社会通念・慣習・しきたり」と「政治や意思決定の場」では「男性優遇」、「学校教育の場」では男女「等しい」と捉えている人が多いが、「女性優遇」と捉えられている場面は少なく、前回調査と同様の傾向となっている。

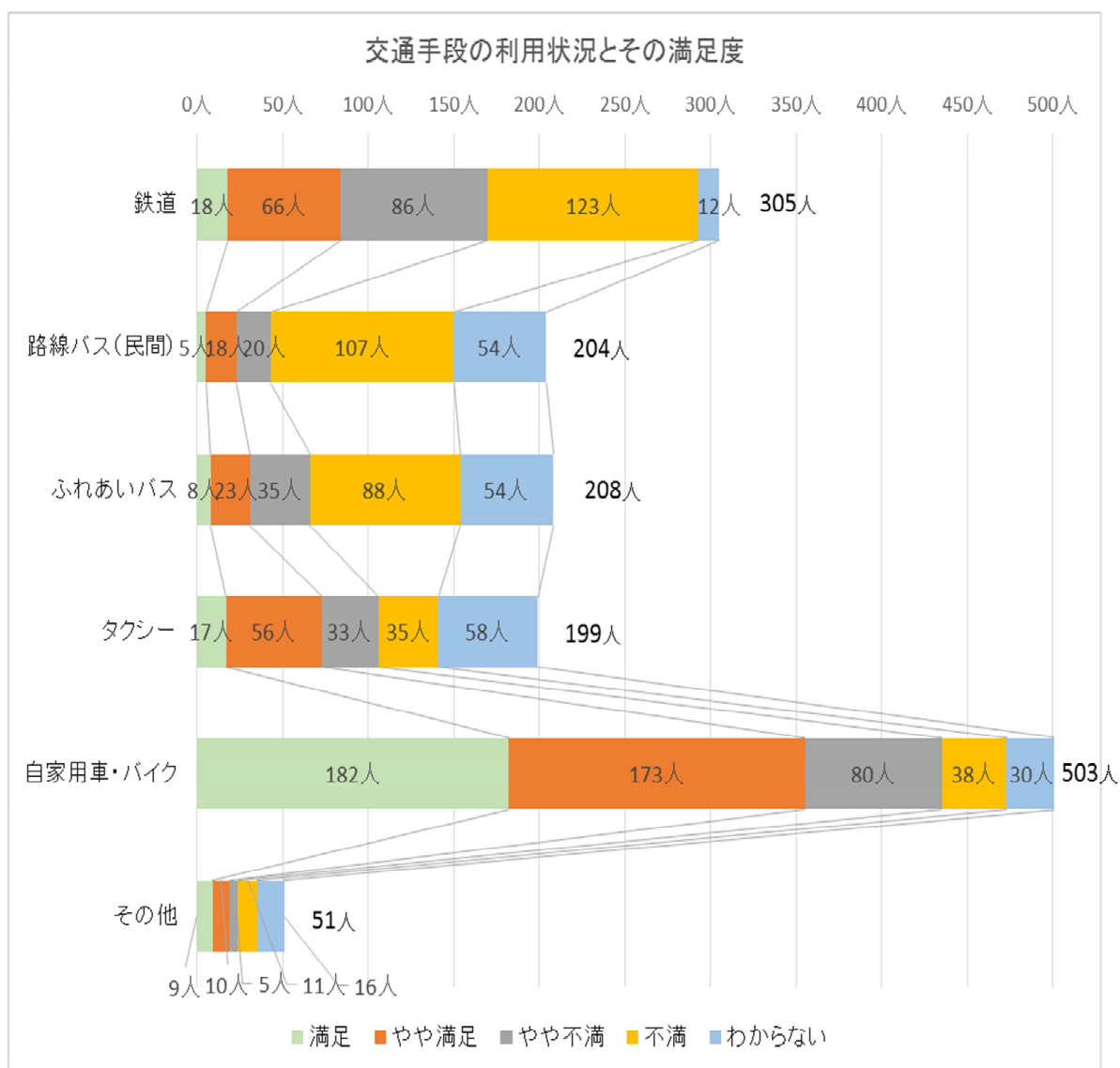


問15-1 交通手段の利用状況とその満足度

あなたは、普段どのような交通手段を利用していますか。あてはまる交通手段をすべて選んでください。また、その交通手段の満足度を1つだけ選んでください。(交通手段：あてはまるものすべて○、交通手段の満足度：1つだけ○) (N=608)

利用状況では、「自家用車・バイク」が503人と圧倒的な利用となっており、次いで「鉄道」305人、「ふれあいバス」208人、「路線バス(民間)」204人、「タクシー」199人の順となっている。

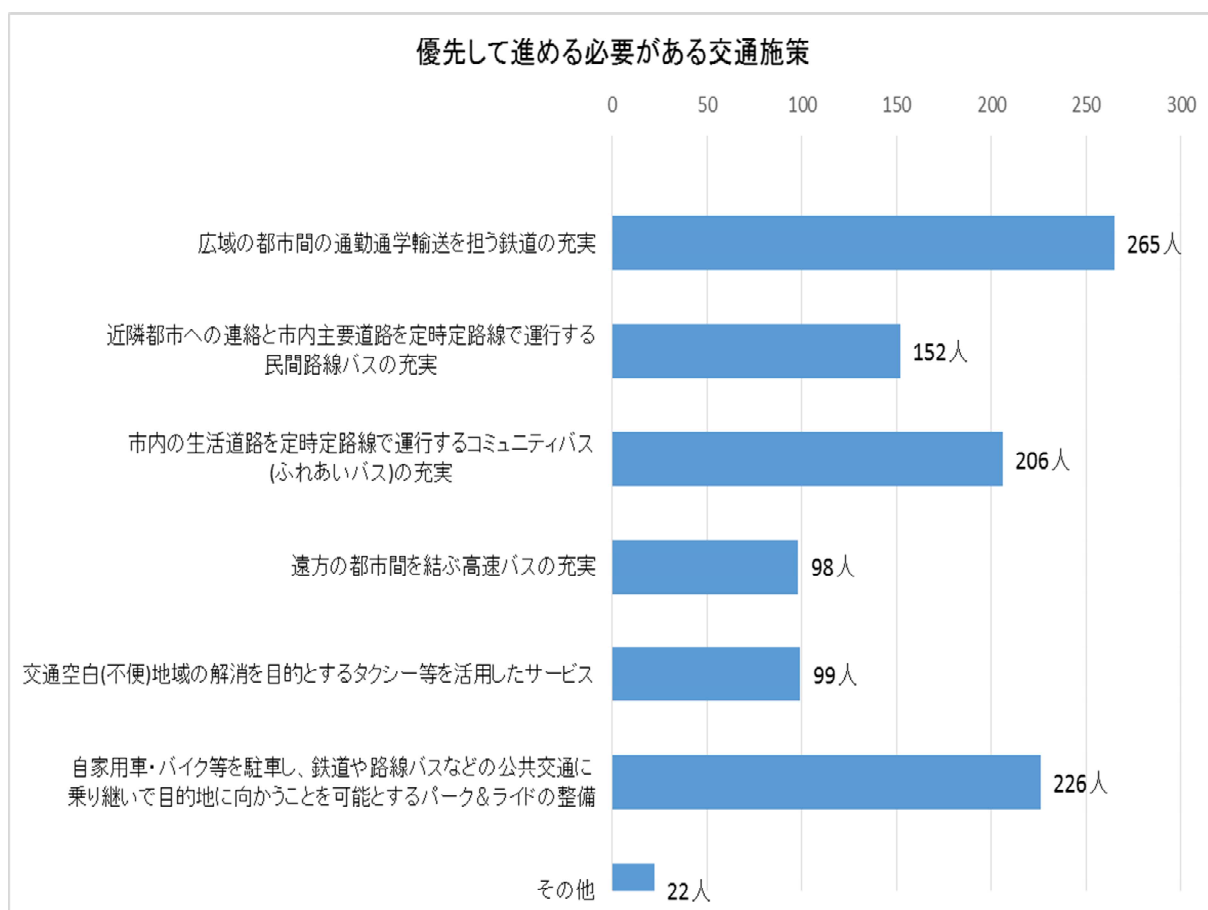
満足度では、「自家用車・バイク」の「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』355人が圧倒的に高く、他の交通手段を大きく引き離している。



問15-2 優先して進める必要がある交通施策

今後の八街市にとって、どのような交通体系を充実させていくことが重要だと考えますか（2つまで○）（N=608）

「広域の都市間の通勤通学輸送を担う鉄道の充実」と回答した人が265人と最も多く、次いで「自家用車・バイク等を駐車し、鉄道や路線バスなどの公共交通に乗り継いで目的地に向かうことを可能とするパーク&ライドの整備」226人、「市内の生活道路を定時定路線で運行するコミュニティバス(ふれあいバス)の充実」206人となっている。市外移動については「鉄道」、市内移動については「コミュニティバス（ふれあいバス）」に対する期待が高いという結果であった。

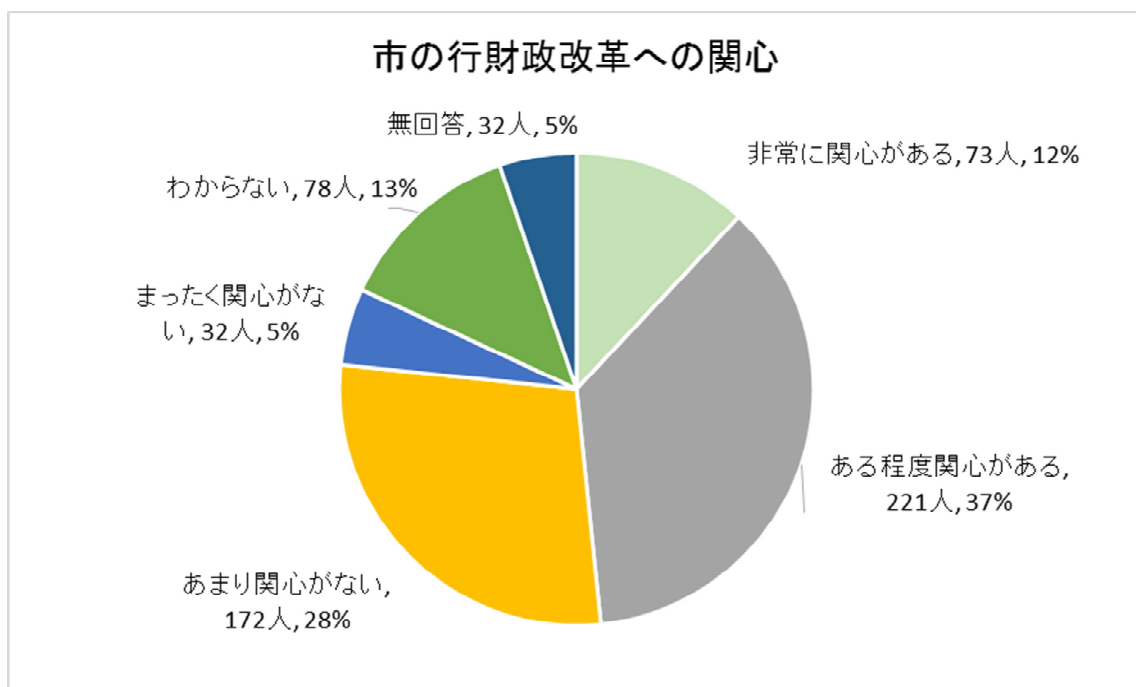


※パーク&ライド・・・自動車（または原付や軽車両）を公共交通機関乗降所（鉄道駅やバス停留所など）に設けた駐車場に停車させ、そこから鉄道や路線バスなどの公共交通機関に乗り換えて目的地に行く方法

問 16-1 市の行財政改革への関心

あなたは、市の行財政改革への取り組みに関心がありますか。(1つに○) (N=608)

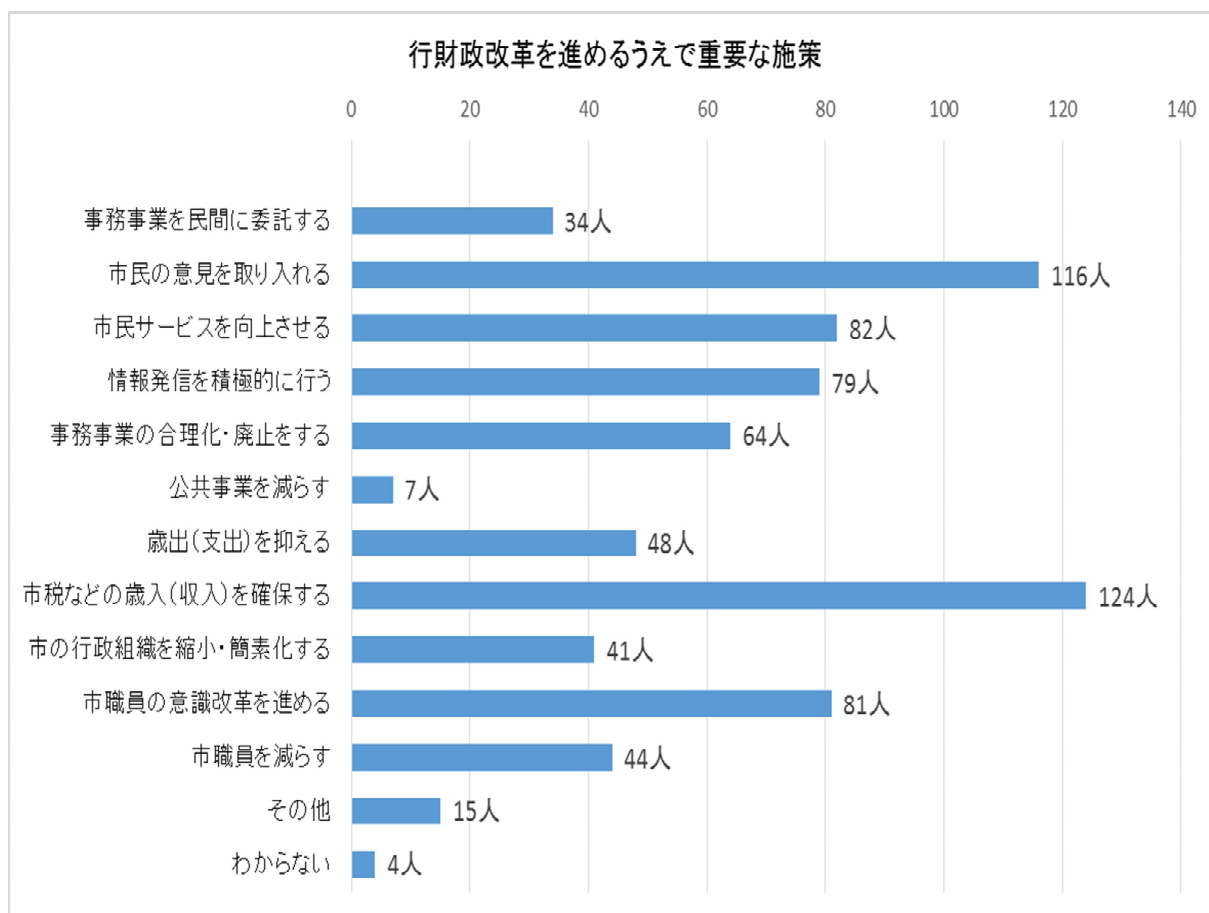
「非常に関心がある」と回答した人 73 人、構成比 12% (前回調査 9%) と「ある程度関心がある」と回答した人 221 人、構成比 36% (前回調査 36%) を合わせた『関心がある』は合計 294 人、構成比 48% (前回調査 45%) と全体の 5 割に近い人が市の行財政改革に関心があるとしている。一方で、「あまり関心がない」と回答した人 172 人、構成比 28% (前回調査 31%) と「まったく関心がない」と回答した人 32 人、構成比 5% (前回調査 5%) となっており、全体の 3 割を超える人が『関心がない』という結果であった。しかし、前回調査と比べると、関心が高い傾向となっている。



問16-2 行財政改革を進めるうえで重要な施策

問16-1で「非常に興味がある」、「興味がある」と選んだ人に伺います。市が行財政改革を進めるうえで、何が重要だと思いますか。（3つまで○）（N=294）

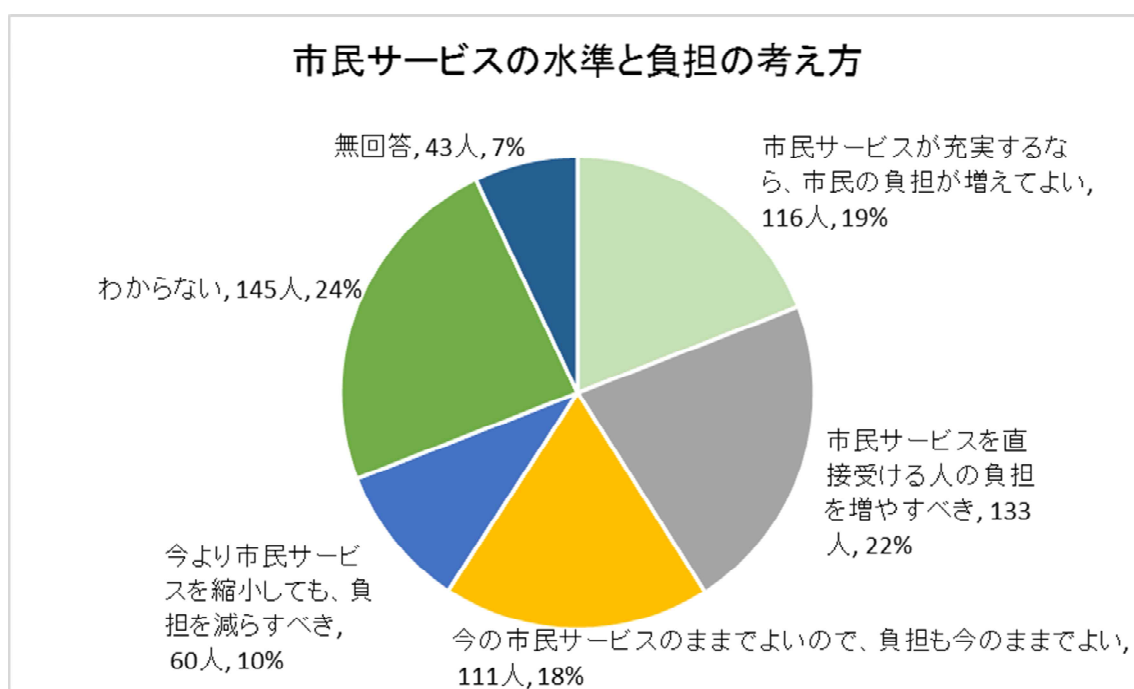
「市税などの歳入（収入）を確保する」と回答した人が124人と最も多く、次いで「市民の意見を取り入れる」116人、「市民サービスを向上させる」82人となっており、前回調査と同様の傾向となっている。



問16-3 市民サービスの水準と負担の考え方

あなたは、市民サービスの水準と負担についてどのように考えますか。(1つに○)
(N=608)

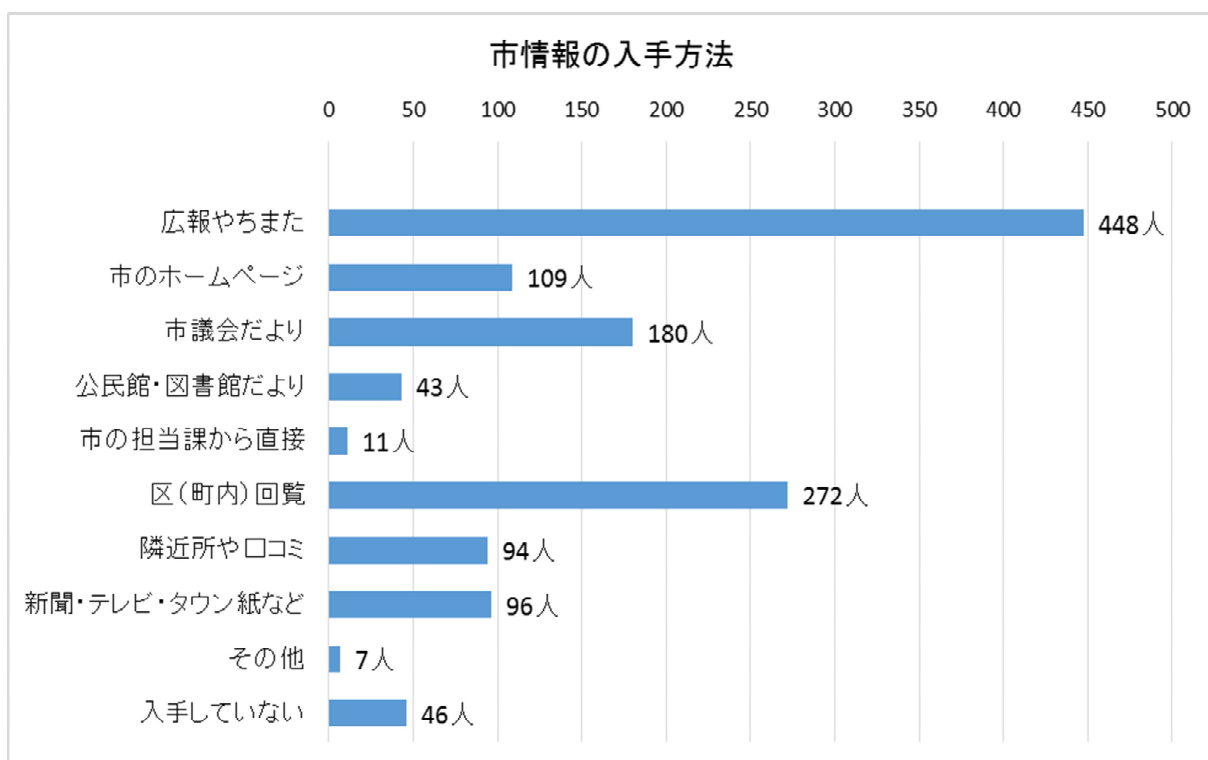
「わからない」と回答した人が145人、構成比24%（前回調査31%）と最も多く、次いで「市民サービスを直接受ける人の負担を増やすべき」133人、構成比22%（前回調査23%）、「市民サービスが充実するなら、市民の負担が増えてよい」116人、構成比19%（前回調査16%）となっている。



問 17 市情報の入手方法

あなたは、市の情報を主に何から入手していますか。(あてはまるものすべて○)
(N=608)

「広報やちまた」と回答した人が 448 人と最も多く、次いで「区（町内）回覧」272 人、「市議会だより」180 人となっており、前回調査と同様の傾向となっている。



第3章 まちづくり活動団体 アンケート

1 調査の概要

(1) 調査の目的

八街市総合計画 2015 後期基本計画の策定に当たり、まちづくりの各分野について精通している市内団体の現状や課題、他団体や行政との協力・連携に対する意向、今後の八街市のまちづくりに対する意見を把握することを目的とする。

(2) 調査の実施概要

①調査項目

団体プロフィール、活動内容の周知方法、活動環境の満足度、必要とする支援、連携・協力による活動の有無とその意向、その他必要と思われる事項

②調査対象

市内で活動するまちづくり活動団体(NPO、ボランティア活動団体等) 110 団体

③調査時期

発送日 7月11日

締切日 8月21日

④調査方法

郵送による調査票の配布、回収

⑤回収結果

配布数 110 団体

有効回収数 72 団体

有効回収率 65.4%

2 調査の結果

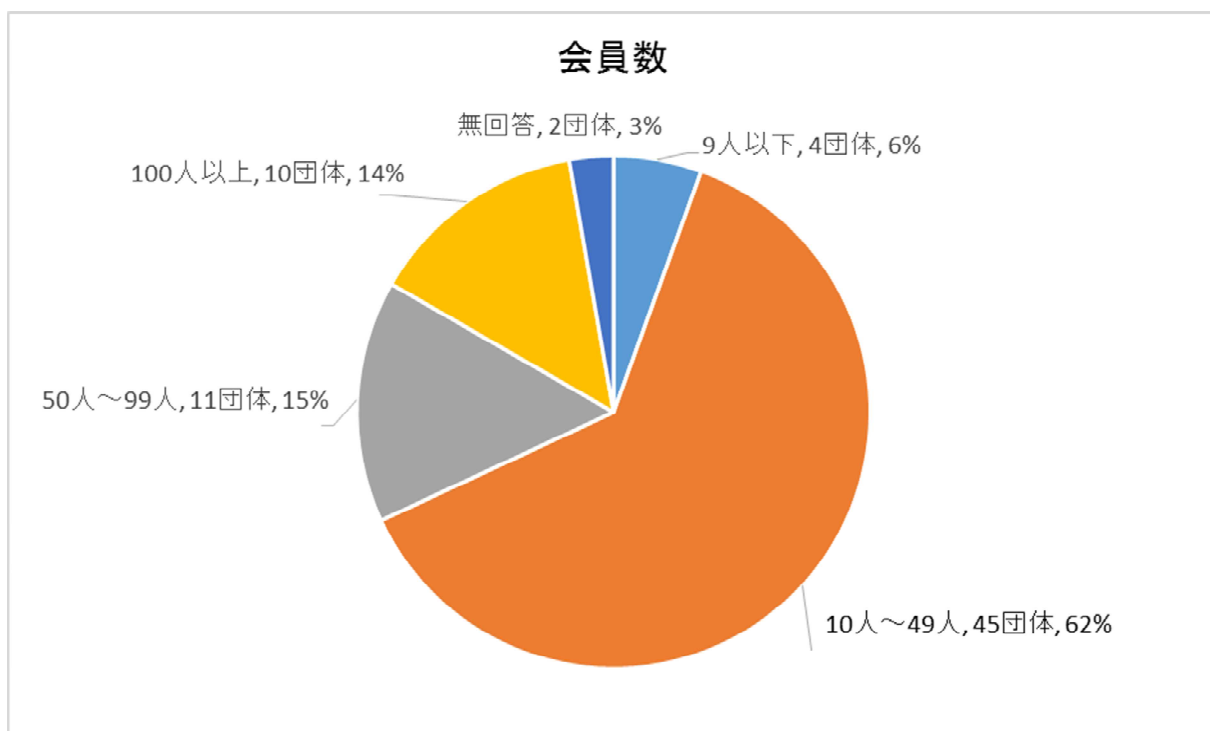
(1) 団体について

問1 団体属性について

F1 会員数

貴団体の会員数は (N=72)

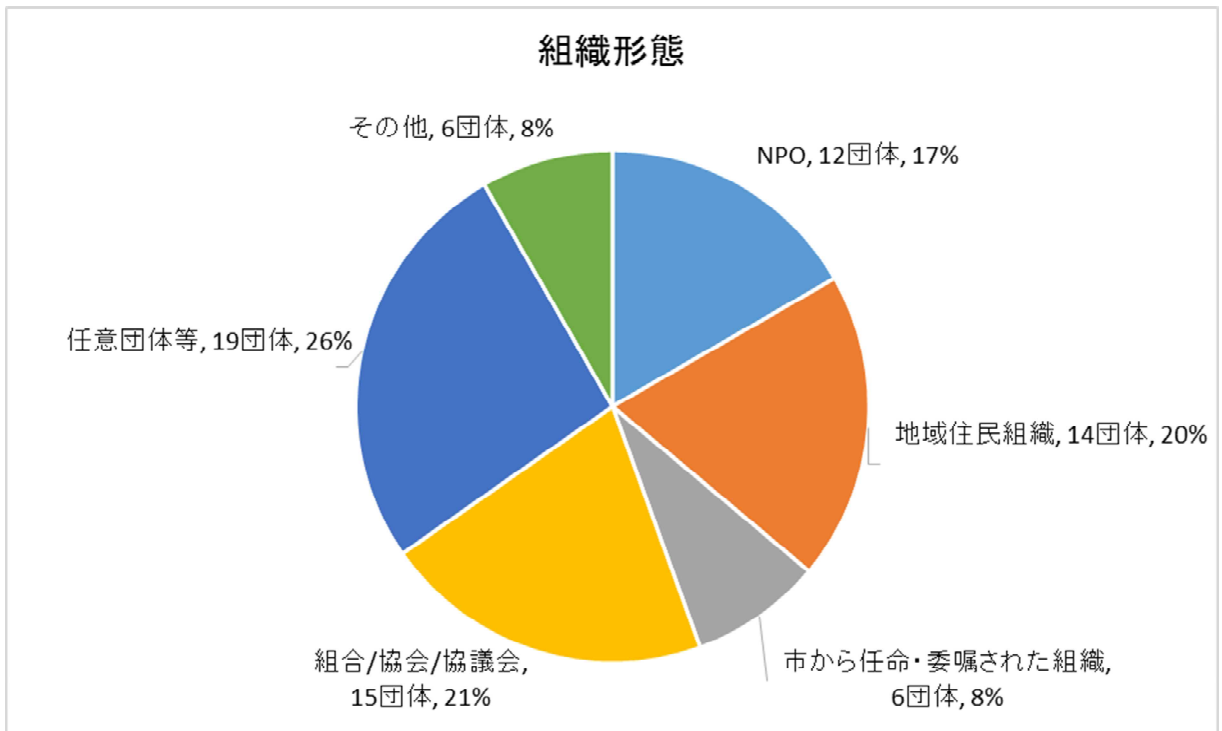
回答団体の会員数は10人～49人の団体が45団体、構成比62%、50人～99人の団体が11団体、構成比15%、100人以上の団体が10団体、構成比14%となっている。



F 2 組織形態

貴団体の組織形態は（1つだけ○、N=72）

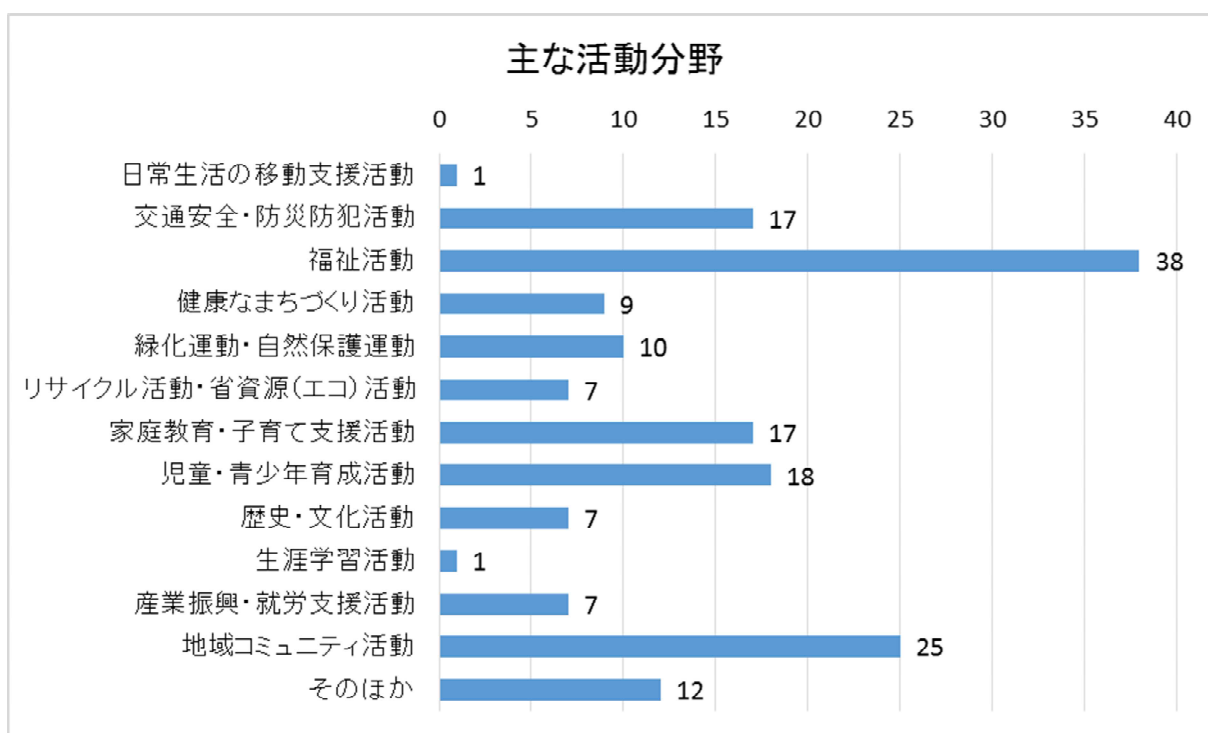
回答団体の組織形態は、任意団体が19団体、構成比26%、組合/協会/協議会/が15団体、構成比21%、地域住民組織が14団体、構成比20%、NPOが12団体、構成比17%が主なものとなっている。



F 3 活動分野

貴団体の主な活動分野は（あてはまるものすべて○、N=72）

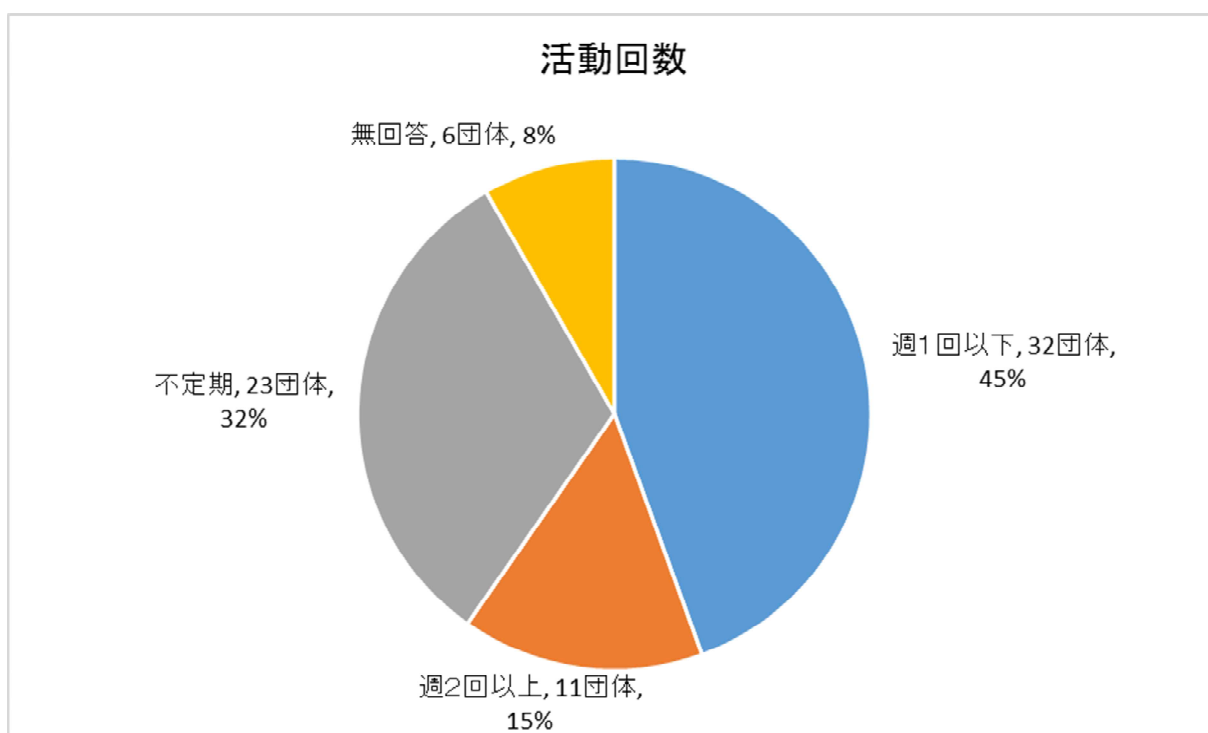
回答団体の主な活動分野は、福祉活動 38 団体、地域コミュニティ活動 25 団体、児童・青少年育成活動 18 団体、交通安全・防災防犯活動と家庭教育・子育て支援活動 17 団体が主なものとなっている。



F 4 活動回数

貴団体の活動回数は（1つだけ〇、N=72）

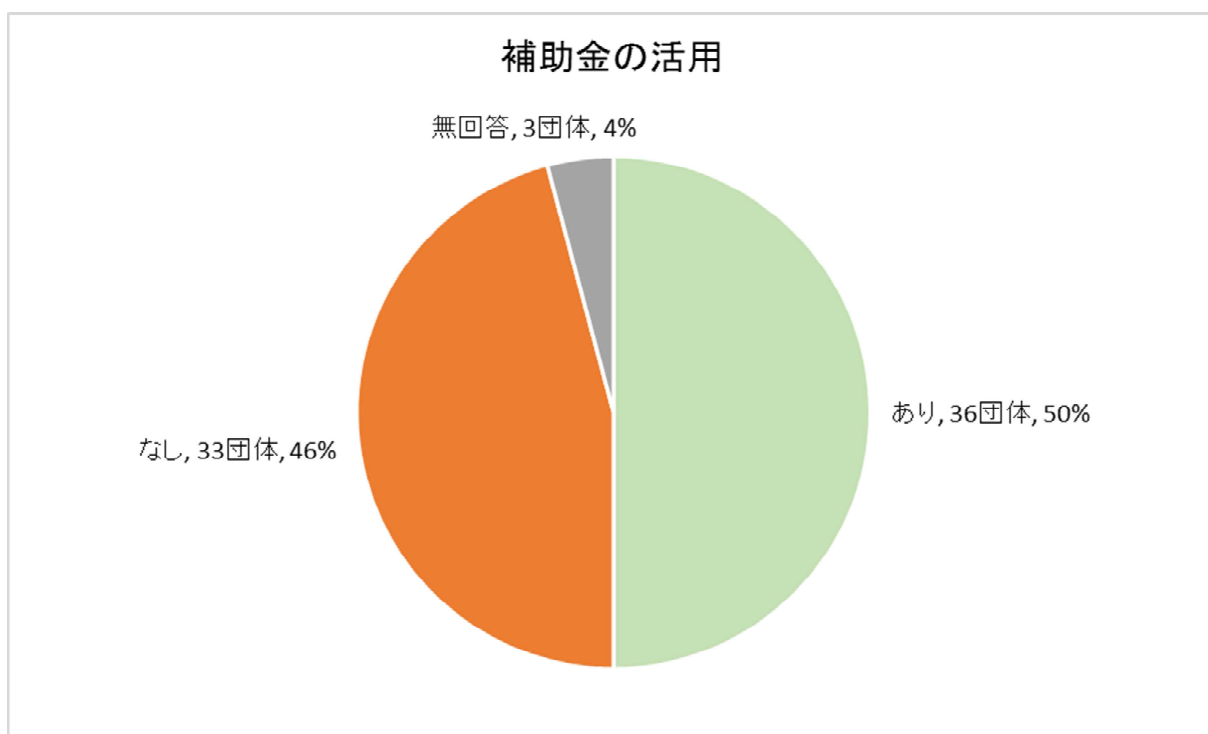
回答団体の活動回数は、週1回以下が32団体、構成比45%、不定期が23団体、構成比32%が主なものとなっている。一方で週2回以上活動している団体が11団体、構成比15%となっている。



F 5 補助金の活用

貴団体は補助制度等を活用していますか。(1つだけ○、N=72)

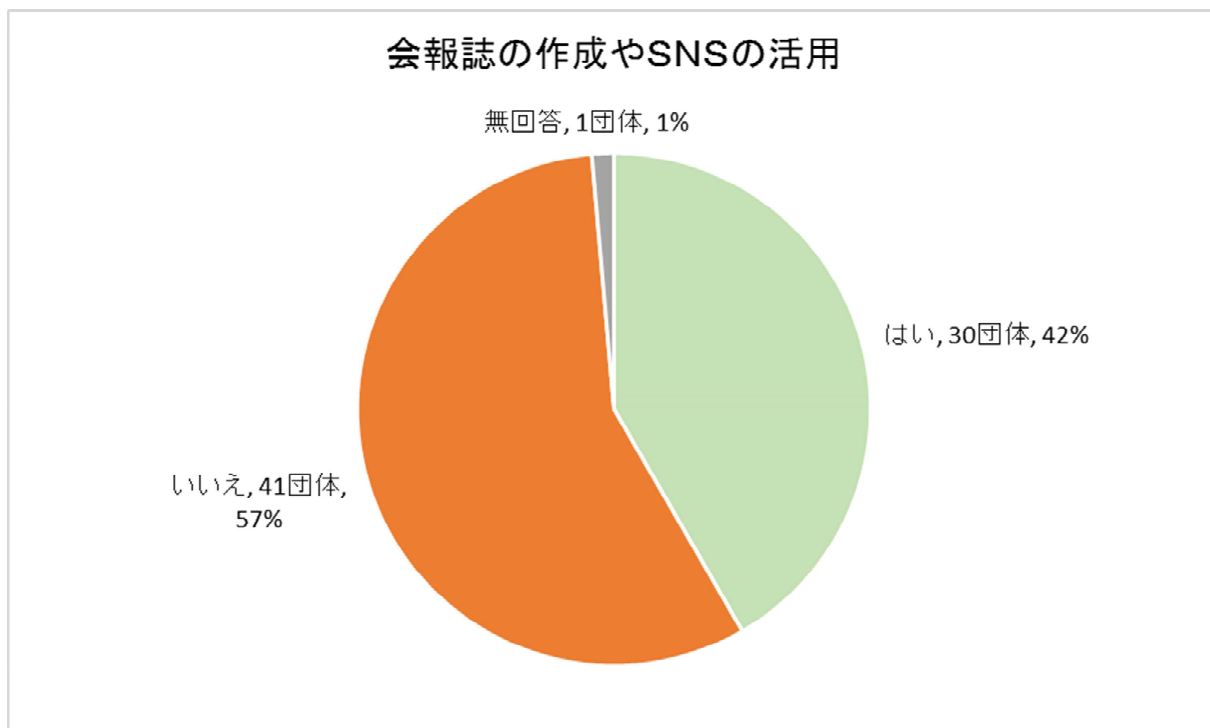
回答団体のうち、36団体、構成比50%が補助金を活用して活動している。



問2 会報誌の作成やSNSの活用

貴団体の活動について、会報誌の作成やSNSの活用などにより、広く市民に周知を図っていますか。(1つだけ○、N=72)

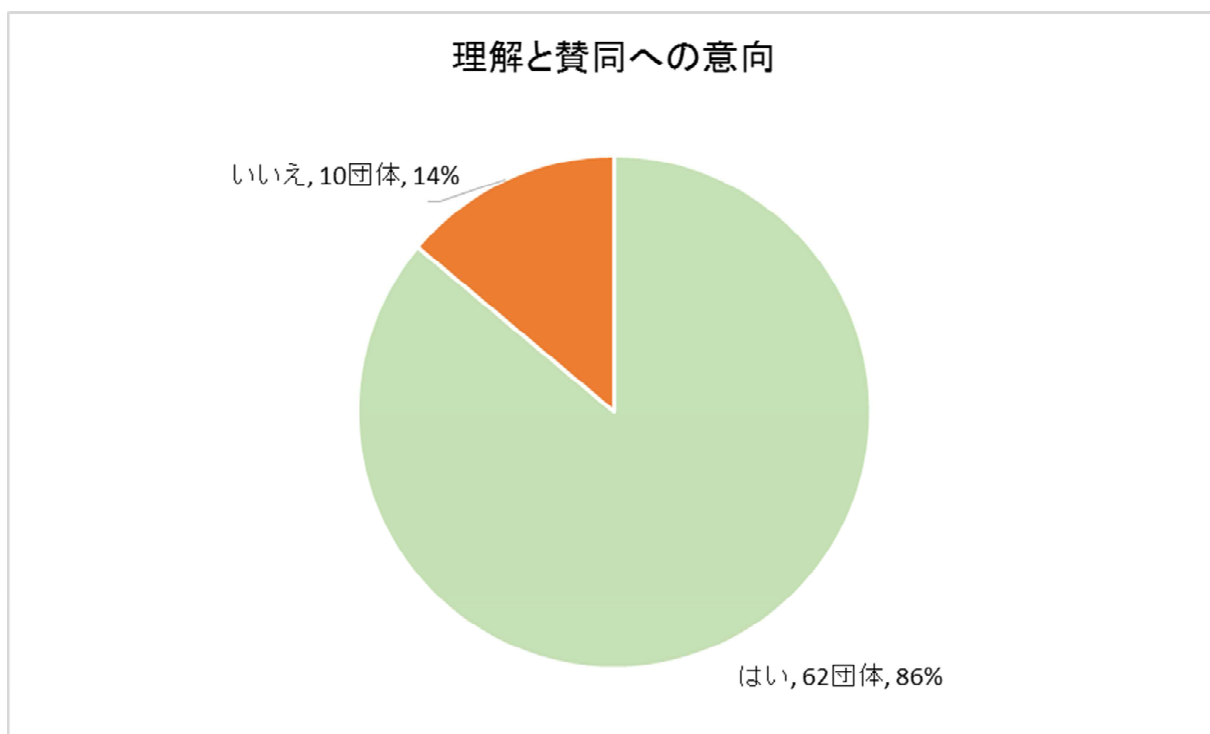
回答団体のうち、30団体、構成比42%が会報誌やSNSを活用して広報普及活動を実施している。



問3 活動に対する理解や賛同への意向

貴団体の活動について、広く市民に周知し、理解と賛同を得たいと考えていますか。
(1つだけ○、N=72)

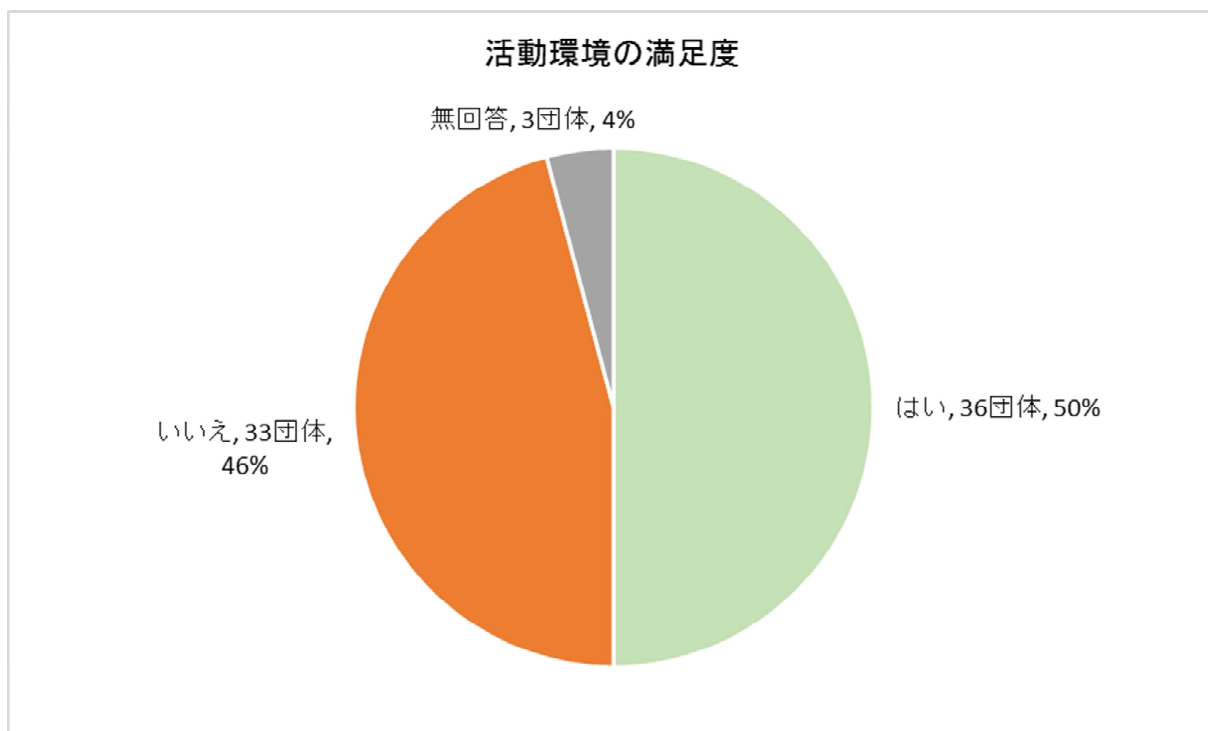
回答団体のうち、62団体、構成比86%が活動内容に対しての市民からの理解や賛同を求めている。



問4 活動環境の満足度

貴団体は、現在の活動環境に満足していますか。(1つだけ○、N=72)

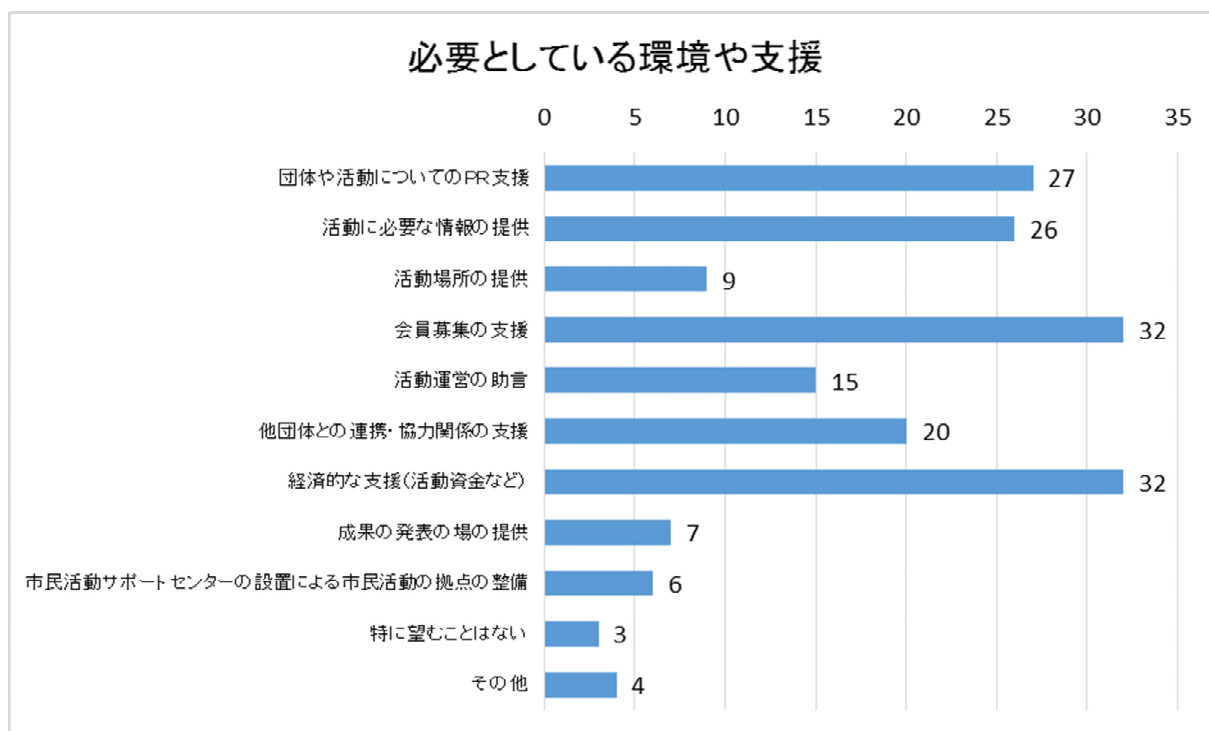
回答団体のうち、36団体、構成比50%が現在の活動環境に満足しているが、一方で33団体、構成比46%の団体が不満足と考えている。



問5 必要としている環境や支援

貴団体が、今後さらに活動内容を充実させるためには、どのような環境や支援が必要だと考えていますか。(3つまで〇、N=72)

「会員募集の支援」、「経済的な支援(活動資金など)」と回答した団体が32団体と最も多く、次いで「団体や活動についてのPR支援」27団体、「活動に必要な情報の提供」26団体となっている。

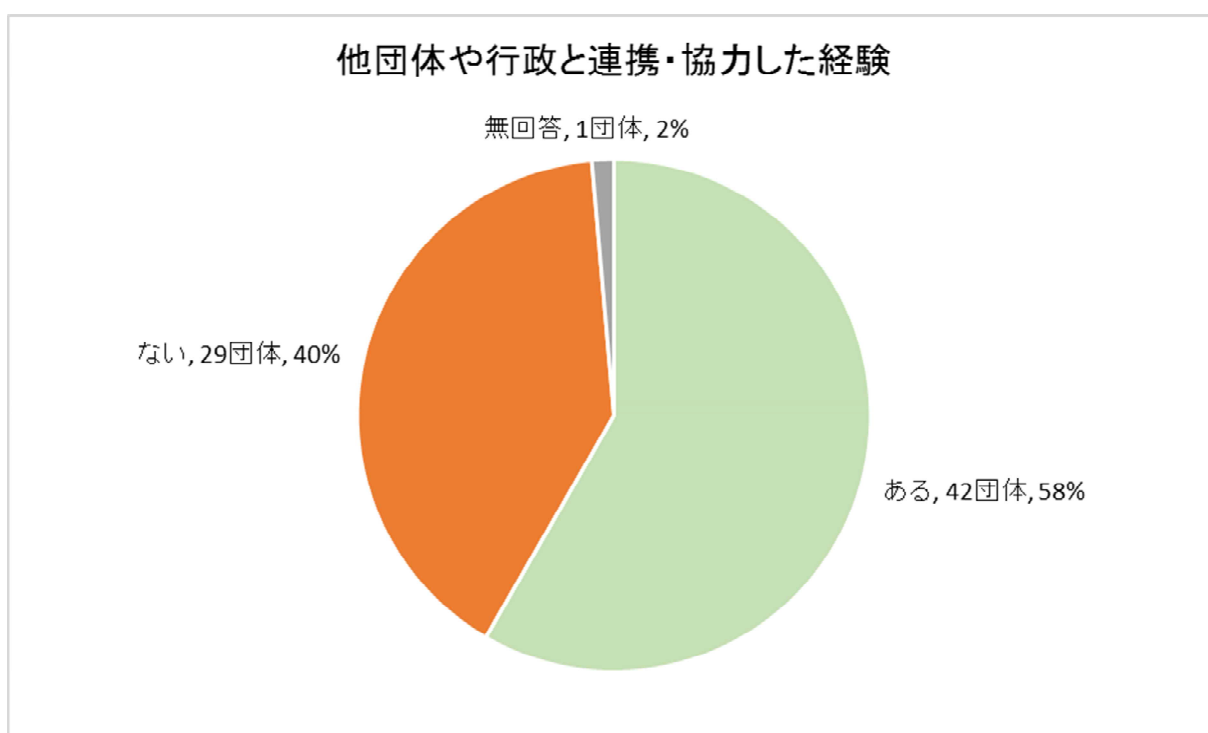


(2) 地域や行政との連携・協力について

問6 他団体や行政と連携・協力した経験

貴団体は、現在までに他の団体や行政と連携・協力してまちづくり活動に取り組んだことがありますか。(1つだけ○、N=72)

回答団体のうち、42団体、構成比58%が他団体や行政と連携・協力した経験があり、活動内容の幅を広げている。

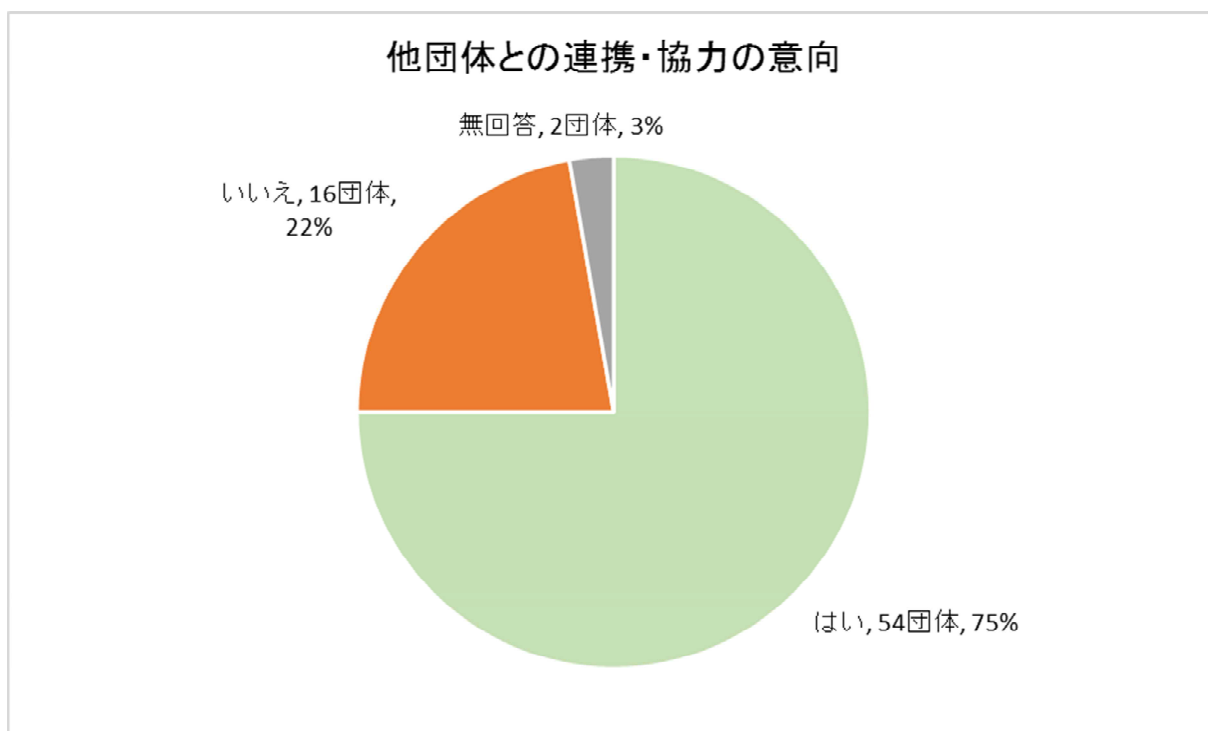


問7 他団体との連携・協力の意向

貴団体の活動内容をさらに充実させるために、自己の活動のみで完結せずに、他の団体や異分野の団体と連携して、活動内容の充実を図りたいと考えますか。

(1つだけ○、N=72)

回答団体のうち、54団体、構成比75%が自己完結の活動に満足せず、他団体や異分野の団体と連携により活動内容の充実を図りたいと考えている。

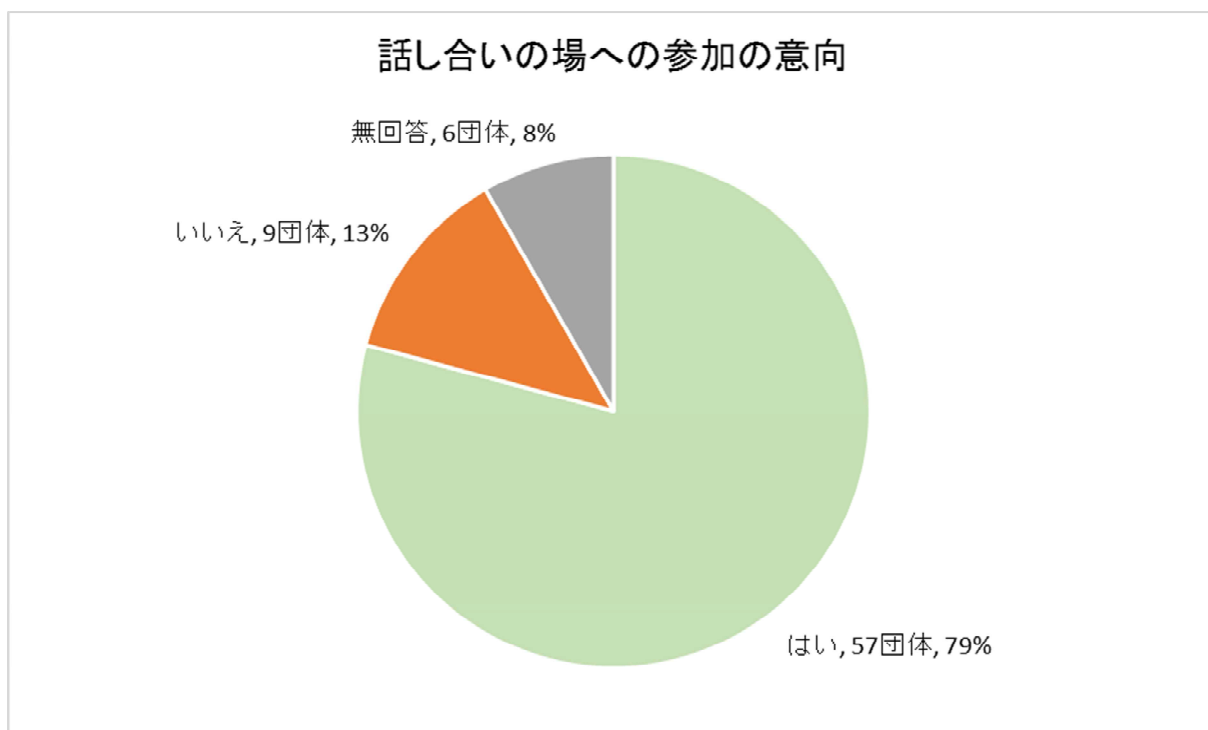


問8 話し合いの場への参加の意向

まちづくりの課題に対し、市民、地域、行政が自助、共助、公助により役割を分担して取り組むためには、まちづくりの情報や課題を共有し、話し合う必要があります。貴団体はそういった話し合いの場があれば積極的に参加したいと思いますか。

(1つだけ○、N=72)

回答団体のうち、57団体、構成比79%が話し合いの場や機会があれば参加したいと考えている。また、他団体との連携・協力を希望している団体ほど話し合いの場に参加したいと考えている傾向が高い。



(3) 八街市の将来のまちづくりについて

問9 優先して進める必要があると思う施策

貴団体は、八街市は今後どの分野に特に力を入れて、まちづくりを進めるべきだと考えますか。(3つまで○、N=72)

上位第3位まで見ると、第1位「幼児教育・学校教育の充実などの【子どもの教育・健全育成の充実】」18団体、第2位「国・県・市道などの【道路の体系的整備】」13団体、第3位「中心市街地や駅周辺の整備などの【秩序ある土地利用】」12団体となっている。

